

BSL-4施設の坂本キャンパス設置について

参考資料2

平成28年6月30日

1. これまでの経緯と今回のご説明内容

(1) これまでの経緯

長崎大学は、BSL-4施設の坂本キャンパス設置の可能性について、慎重に検討を重ねてきました。具体的には、学内での検討に引き続き、

- ①平成27年2月～7月 「長崎大学高度安全実験(BSL-4)施設に関する有識者会議」においてご議論いただき、BSL-4施設の設置に伴う研究・人材育成の迅速かつ効果的な実施のためには、
- ・安定したインフラ供給が可能な環境
 - ・研究用資材の入手や機器のメンテナンス・修理が容易な環境
 - ・その他の様々な研究分野との交流・連携が可能な環境
- の3つの条件が重要であることを明らかにし、ご理解いただきました。
- ②平成27年8月～ また、長崎県、長崎市との「感染症研究拠点整備に関する連絡協議会」(「三者連絡協議会」)においてもご議論いただき、
- ①研究・人材育成効果、②管理運営、③海外を含む長崎県外からの感染症侵入時の対応(観光・ビジネスの拡大に伴う課題)、④設置の実現可能性・実現に要する期間、⑤施設における緊急時対応、⑥地域との関係
- の観点から、BSL-4施設の坂本キャンパス設置の必要性についてご説明しました。

(2) 今回のご説明内容

昨年10月の第2回「三者連絡協議会」でのご説明後、「資金と時間があれば、インフラ整備はできるのだから、坂本キャンパスに設置する理由はないのではないかと」とのご意見があるように承知しております。

しかしながら、この問題は単に資金や時間の問題ではなく、地形や天候とともに、防災面を含め、BSL-4施設の安全性を確保する上で極めて重要な要素だと考えています。

今回は長崎市が公表されている長崎市防災情報マップを用いて、各地区別の概況も含め、ご説明したいと考えています。
なお、都市整備に当たっては、「まちづくりの決まりごと」とも言える都市計画法という法律がありますので、その内容も併せてご説明します。

(今回のご説明内容)

1. これまでの経緯と今回のご説明内容
2. 長崎市の過去3年間の降水量
(参考資料1)長崎市内の降水量の全国順位
3. 長崎市の防災情報マップ
4. 長崎市の都市基盤
 - (1)都市計画規制
(参考資料2)長崎市の市街化区域等からの10km圏
 - (2)上下水道
 - (3)交通アクセス
 - (4)長崎市の警察署・消防署
(参考資料3)長崎市の将来都市構想図
5. 現在の検討結果
(参考資料4)観測地点ごとの観測史上1位～10位(長崎・野母崎・長浦岳)

2. 長崎市の過去3年間の降水量

1時間降水量の月最大(mm)

観測所	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
長崎	平成25	4.0	17.5	29.5	15.5	25.5	17.5	2.0	23.5	19.0	44.0	32.0	8.0
	平成26	6.0	12.0	18.0	12.5	14.0	14.0	62.0	35.0	32.0	28.5	10.0	9.5
	平成27	14.0	2.5	21.5	26.5	20.0	28.5	20.5	79.0	24.5	12.0	7.5	9.5
	平成28	6.0	19.5	10.5	14.5	25.5	82.5						
野母崎	平成25	4.0	17.5	13.0	13.0	20.5	24.0	1.0	28.5	63.0	16.5	14.0	10.0
	平成26	15.5	19.0	14.0	8.5	11.5	14.0	62.0	21.0	18.5	12.0	7.5	5.0
	平成27	11.0	6.0	26.0	16.0	17.5	31.0	21.5	30.0	21.5	9.0	18.5	12.5
	平成28	5.0	5.0	10.0	10.0	21.5	66.5						
長浦岳	平成25	12.5	22.5	43.0	13.5	19.5	43.5	30.0	49.0	24.5	32.0	35.5	25.5
	平成26	10.5	12.0	19.0	11.5	14.0	13.5	96.0	52.5	49.0	21.0	31.5	10.5
	平成27	11.5	3.5	24.0	32.5	16.5	28.0	47.0	70.0	36.0	15.0	17.5	9.5
	平成28	10.0	11.5	9.5	31.0	25.0	68.0						

(出所:気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

長崎市地域防災計画(市民向けダイジェスト版)によると、雨の降り方と備えについて、次のように記載されております。

①1時間雨量が20～30mmの場合

「傘をさしていてもぬれてしまうほどの雨で、小さな川なら水があふれたり、がけ崩れの心配もあります。」

②1時間雨量が30～50mmの場合

「山崩れ・がけ崩れが起こりやすくなります。避難の準備をしましょう!」

③1時間雨量が50～80mmの場合

「あたりが水しぶきで白っぽくなります。地下室などには雨水が流れ込む場合があります。」

④1時間雨量が80mm～の場合

「息苦しくなるような圧迫感を感じます。災害が起こる可能性がありますので、嚴重な注意を。」

(注)平成28年6月の値については、長崎は22日、野母崎は20日、長浦岳は22日のもの。

(参考資料1)長崎市内の降水量の全国順位

1. 観測史上の歴代全国順位(20位以内)

<最大1時間降水量> 1位 (長浦岳) 153.0mm 昭和57年7月23日

<最大10分間降水量> 18位 (長崎) 36.0mm 昭和34年7月8日

2. 月別の歴代全国順位(20位以内)

月	順位	地点	観測値		
			項目	mm	起日
1月	9	長崎	最大10分間降水量	22.0	昭和47年1月24日
2月	20	長崎	最大10分間降水量	20.0	昭和54年2月23日
3月	16	長浦岳	最大10分間降水量	23.5	平成25年3月18日
4月	7	長崎	日降水量	345.4	明治15年4月11日
5月	-	-	-	-	-
6月	18	長崎	最大10分間降水量	29.0	平成28年6月20日
7月	1	長浦岳	最大1時間降水量	153.0	昭和57年7月23日
	5	長崎	最大1時間降水量	127.5	昭和57年7月23日
	5	長崎	最大10分間降水量	36.0	昭和34年7月8日
8月	-	-	-	-	-
9月	-	-	-	-	-
10月	-	-	-	-	-
11月	13	野母崎	最大10分間降水量	28.0	平成23年11月18日
12月	-	-	-	-	-

(出所: 気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

3. 長崎市の防災情報マップ

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 東部本庁地区 | 11. 伊王島地区・高島地区 |
| 2. 東長崎地区 | 12. 西部本庁地区 |
| 3. 日見地区 | 13. 福田地区・小櫛地区 |
| 4. 茂木地区 | 14. 式見地区 |
| 5. 南部本庁地区 | 15. 三重地区 |
| 6. 小ヶ倉地区・土井首地区・深堀地区 | 16. 琴海地区 |
| 7. 香焼地区 | 17. 外海地区 |
| 8. 三和地区 | 18. 北部本庁地区 |
| 9. 野母崎地区① | 19. 西浦上地区 |
| 10. 野母崎地区② | |

(注1)平成28年6月22日に大雨による避難勧告が発令された地区については、網かけで示した。

(注2)平成27年8月24日には台風15号により、平成23年6月12日には大雨により、長崎市内全域に避難準備情報が発令された。

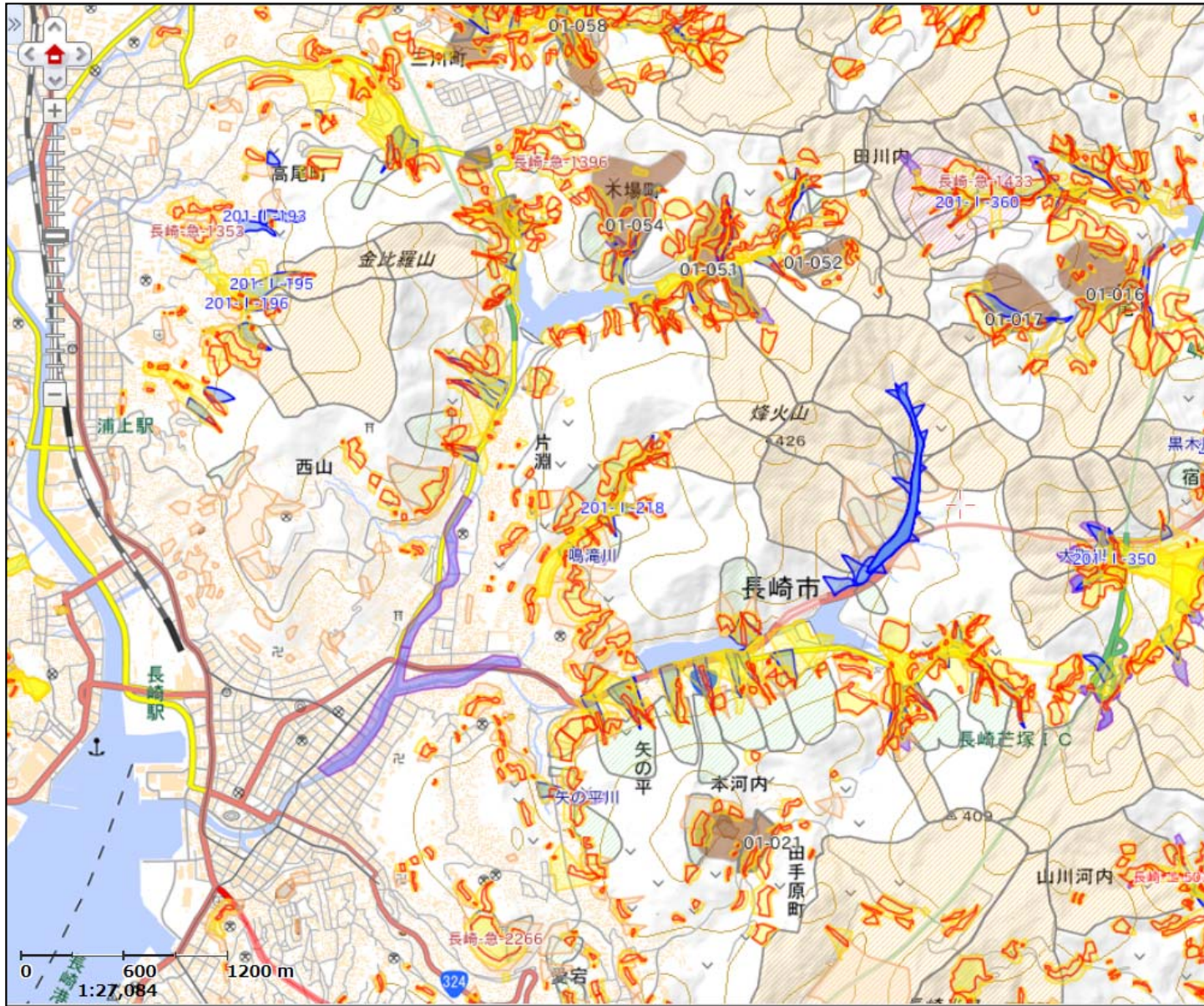
地区別表

No.	地区名	町名
1	東部本庁地区	・本河内 1～4・矢の平 1～4・白木町・八つ尾町・中川 1～2・新中川町・桜馬場 1～2・新大工町 ・伊勢町・伊良林 1～3・風頭町・彦見町・寺町・八幡町・麴屋町・出来大工町・馬町・炉粕町・勝山町 ・大井手町・今博多町・古町・桶屋町・諏訪町・魚の町・栄町・古川町・東古川町・銀屋町・賑町 ・万屋町・築町・浜町・銅座町・鍛冶屋町・油屋町・高平町・愛宕 1～4・弥生町・三景台町・東小島町 ・上小島 1～5・桜木町・出島町・江戸町・元船町・五島町・樺島町・万才町・興善町・桜町・恵美須町 ・大黒町・尾上町・八千代町・御船蔵町・浜平 1～2・西坂町・中町・上町・筑後町・玉園町・八百屋町 ・立山 1～5・上西山町・下西山町・西山本町・西山 1～4・西山台 1～2 片淵 1～5・夫婦川町 ・鳴滝 1～3・木場町
2	東長崎地区	・田中町・矢上町・現川町・平間町・鶴の尾町・東町・かき道 1～6・松原町・古賀町・つつしが丘 1～5 ・中里町・船石町・上戸石町・川内町・戸石町・牧島町・高城台 1～2
3	日見地区	・芒塚町・宿町・界 1～2・網場町・春日町・潮見町
4	茂木地区	・早坂町・田手原町・太田尾町・飯香浦町・北浦町・田上 1～4・茂木町・宮摺町・大崎町・千々町
5	南部本庁地区	・船大工町・本石灰町・丸山町・寄合町・中小島 1～2・西小島 1～2・館内町・稲田町・中新町・十人町 ・籠町・新地町・梅香崎町・常磐町・相生町・大浦町・東山手町・下町・東山町・大浦東町・日の出町 ・元町・川上町・椎の木町・高丘 1～2・南町・南が丘町・八景町・星取 1～2・出雲 1～3・上田町 ・南山手町・松が枝町・小曾根町・浪の平町・古河町・東琴平 1～2・西琴平町・国分町・小菅町 ・戸町 1～5・上戸町・上戸町 1～4・新戸町 1～4
6	小ヶ倉地区	・新小が倉 1～2・小ヶ倉町 1～3・ダイヤモンド 1～4・大山町
	土井首地区	・磯道町・古道町・鹿尾町・京太郎町・三和町・土井首町・毛井首町・平瀬町・鶴見台 1～2・米山町 ・草住町・柳田町・八郎岳町・江川町・末石町・竿浦町・平山町・平山台 1～2
	深堀地区	・深堀町 1～6・大籠町
7	香焼地区	・香焼町
8	三和地区	・蚊焼町・川原町・為石町・椿が丘町・藤田尾町・布巻町・晴海台町・宮崎町
9,10	野母崎地区	・以下宿町・野母崎樺島町・黒浜町・高浜町・南越町・野母町・脇岬町
11	伊王島地区	・伊王島町 1～2
	高島地区	・高島町

地区別表

No	地区名	町名
12	西部本庁地区	・宝栄町・岩見町・春木町・竹の久保町・梁川町・淵町・稲佐町・光町・曙町・弁天町・旭町・江の浦町 ・平戸小屋町・大鳥町・丸尾町・水の浦町・大谷町・飽の浦町・秋月町・入船町・塩浜町・岩瀬道町 ・東立神町・西立神町・西泊町・小江原 1～5
13	福田地区	・大浜町・小浦町・福田本町・小江町・柿泊町・手熊町・上浦町
	小楯地区	・木鉢町 1～2・小瀬戸町・神ノ島町 1～3・みなと坂 1～2
14	式見地区	・園田町・向町・牧野町・式見町・四杖町・相川町・見崎町
15	三重地区	・松崎町・三重町・三重田町・檜山町・畦町・京泊 1～3・畝刈町・鳴見町・鳴見台 1～2・多以良町 ・さくらの里 1～3・豊洋台 1～2
16	琴海地区	・琴海尾戸町・琴海大平町・琴海形上町・長浦町・琴海戸根原町・琴海戸根町・琴海村松町・西海町
17	外海地区	・永田町・上黒崎町・下黒崎町・西出津町・東出津町・新牧野町・赤首町・神浦扇山町・神浦北大中尾町 ・神浦上大中尾町・神浦下大中尾町・神浦丸尾町・神浦江川町・神浦上道德町・神浦下道德町 ・神浦口福町・神浦向町・神浦夏井町・上大野町・下大野町・池島町
18	北部本庁地区	・宝町・幸町・天神町・銭座町・上銭座町・緑町・茂里町・目覚町・岩川町・川口町・浜口町・平野町 ・平和町・坂本 1～3・松山町・岡町・橋口町・上野町・本原町・扇町・石神町・辻町・小峰町 ・三原 1～3・高尾町・本尾町・江平 1～3・大橋町・城栄町・青山町・若草町・金堀町・城山台 1～2 ・花園町・立岩町・富士見町・城山町
19	西浦上地区	・家野町・文教町・千歳町・若葉町・中園町・住吉町・住吉台町・赤迫 1～3・泉町・泉 1～3・花丘町 ・昭和 1～3・女の都 1～4・大手 1～3・けやき台・川平町・三川町・三ツ山町・畦別当町・滑石 1～6 ・大園町・大宮町・北栄町・北陽町・虹が丘町・横尾 1～5・葉山 1～2・エミメント葉山町・岩屋町 ・西北町・若竹町・柳谷町・錦 1～3・音無町・西町・白鳥町・清水町・緑が丘町・江里町・三芳町 ・油木町

3-1. 長崎市防災情報マップ(東部本庁地区)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]

・人の居住・活動が予定されている「市街化区域」と、人の居住・活動が予定されておらず、「市街化を抑制すべき地域」として開発行為が原則的に禁止されている「市街化調整区域」が混在している地区。
 ・キャッチフレーズは「都心部におけるにぎわいと活力のある都市づくり」。

[危険箇所等]

・左図の通り、山の麓を中心に、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)・同警戒区域(イエローゾーン)等が多数指定されている。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]

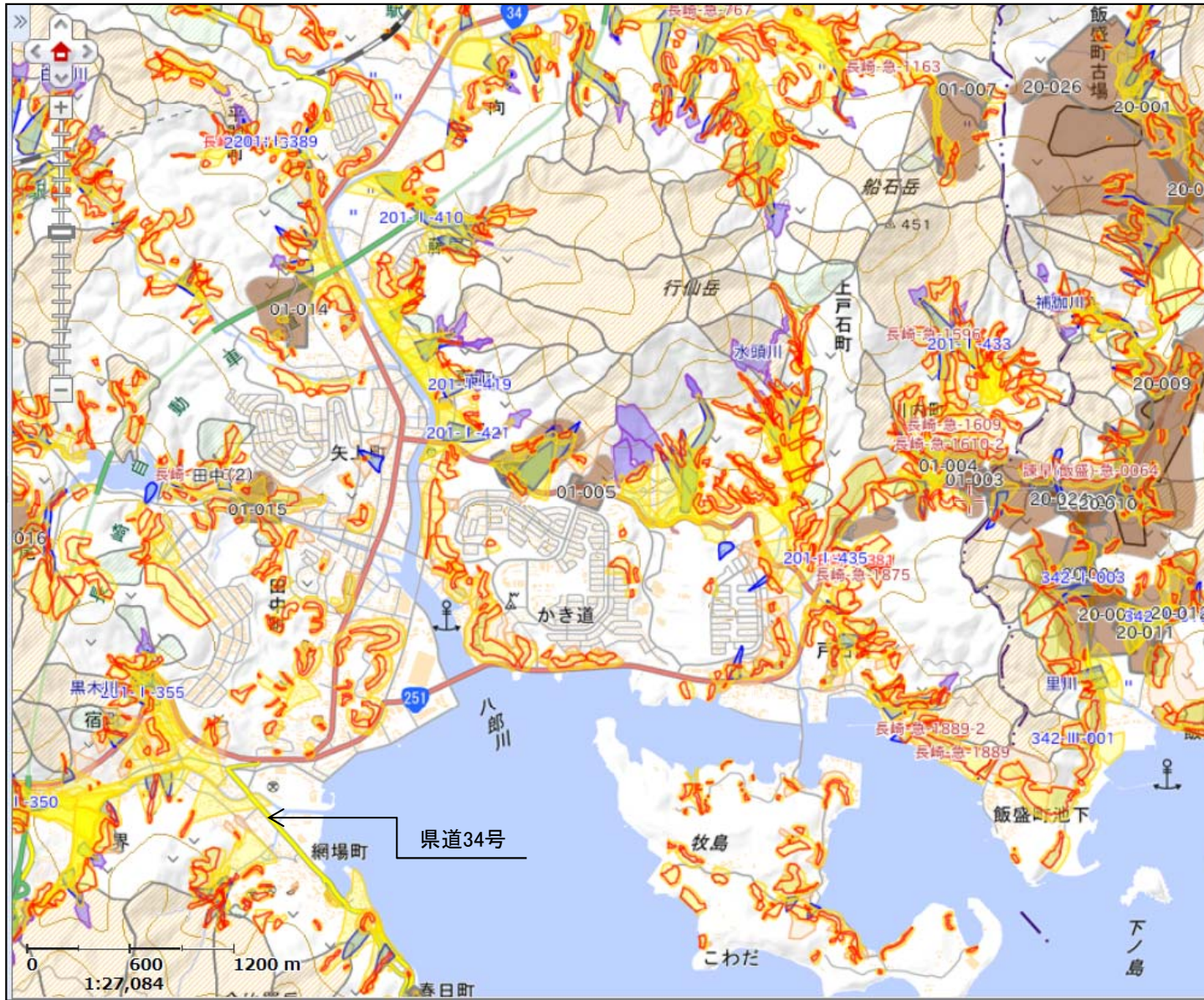
(出所:長崎県HP)

避難指示

①平成28年6月29日(御船蔵町の一部)

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

3-2. 長崎市防災情報マップ(東長崎地区)



凡例

登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]

・人の居住・活動が予定されている「市街化区域」と、人の居住・活動が予定されておらず、「市街化を抑制すべき地域」として開発行為が原則的に禁止されている「市街化調整区域」が混在している地区。
 ・キャッチフレーズは「東部市街地圏域の拠点として、にぎわいと活力のある計画的な都市づくり」。

[危険箇所等]

・左図の通り、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)・同警戒区域(イエローゾーン)のほか、地すべり、山地災害や土石流を警戒すべき地区を含む。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]

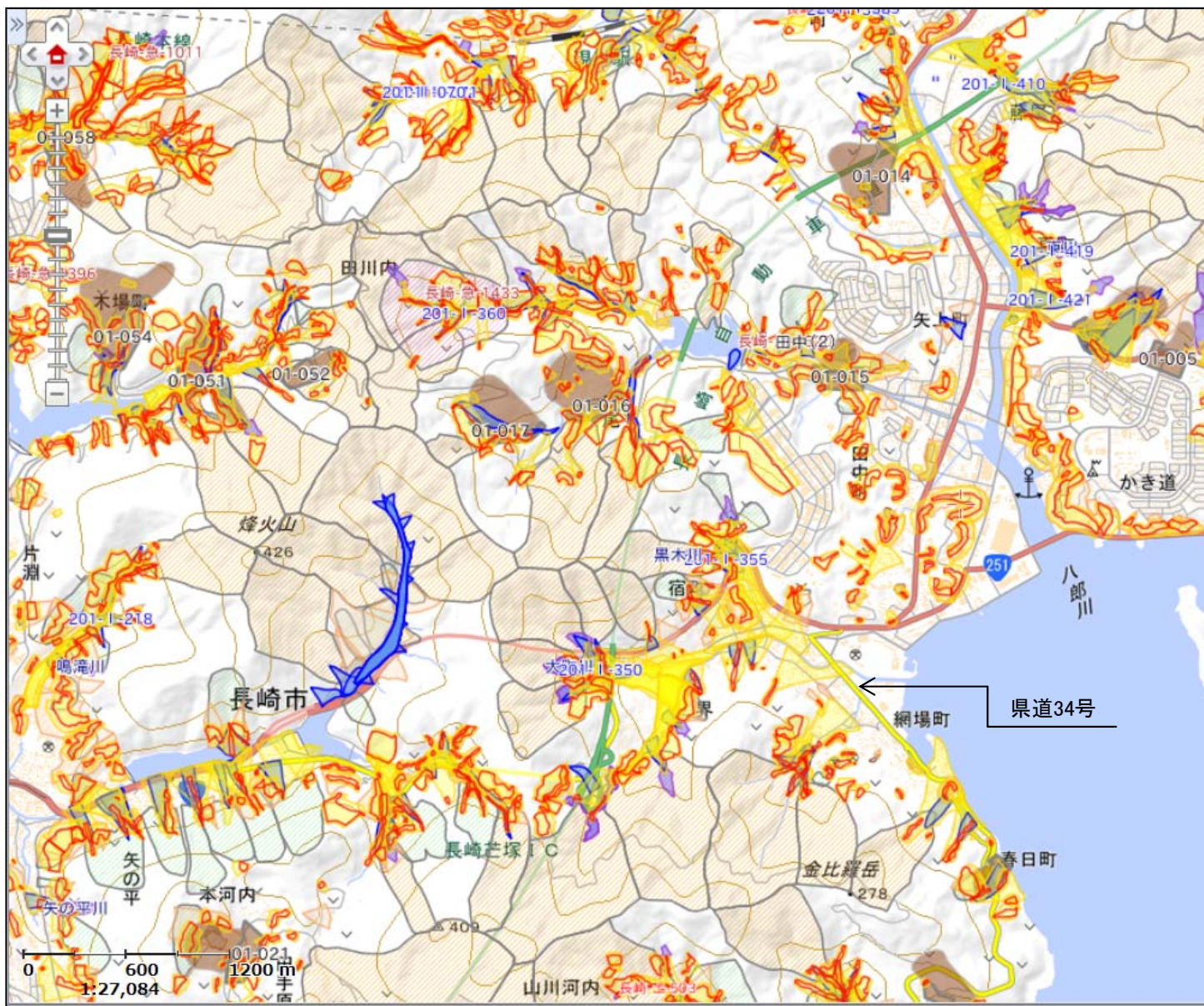
(出所:長崎県HP)

避難勧告

- ①平成28年6月22日
- ②平成26年7月3日(一部)

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

3-3. 長崎市防災情報マップ(日見地区)



(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

凡例	
登録情報 土砂災害 土砂災害特別警戒区域 特別警戒区域(崖崩れ) 特別警戒区域(土石流) 土砂災害警戒区域 警戒区域(崖崩れ) 警戒区域(土石流)	危険区域 急傾斜地崩壊危険区域 地すべり防止区域 砂防指定地 山地_山腹崩壊 山地_地すべり 山地_崩壊土砂流出
危険箇所 ・地すべり危険箇所 Color1 Color2	危険箇所 土石流危険渓流 急傾斜地崩壊危険箇所

[地区の概況]

- ・人の居住・活動が予定されている「市街化区域」と、人の居住・活動が予定されておらず、「市街化を抑制すべき地域」として開発行為が原則的に禁止されている「市街化調整区域」が混在している地区。
- ・キャッチフレーズは「橋湾に面し、豊かな自然環境に囲まれた文教の都市づくり」。

[危険箇所等]

- ・左図の通り、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)・同警戒区域(イエローゾーン)のほか、山地災害や土石流を警戒すべき地区を含む。

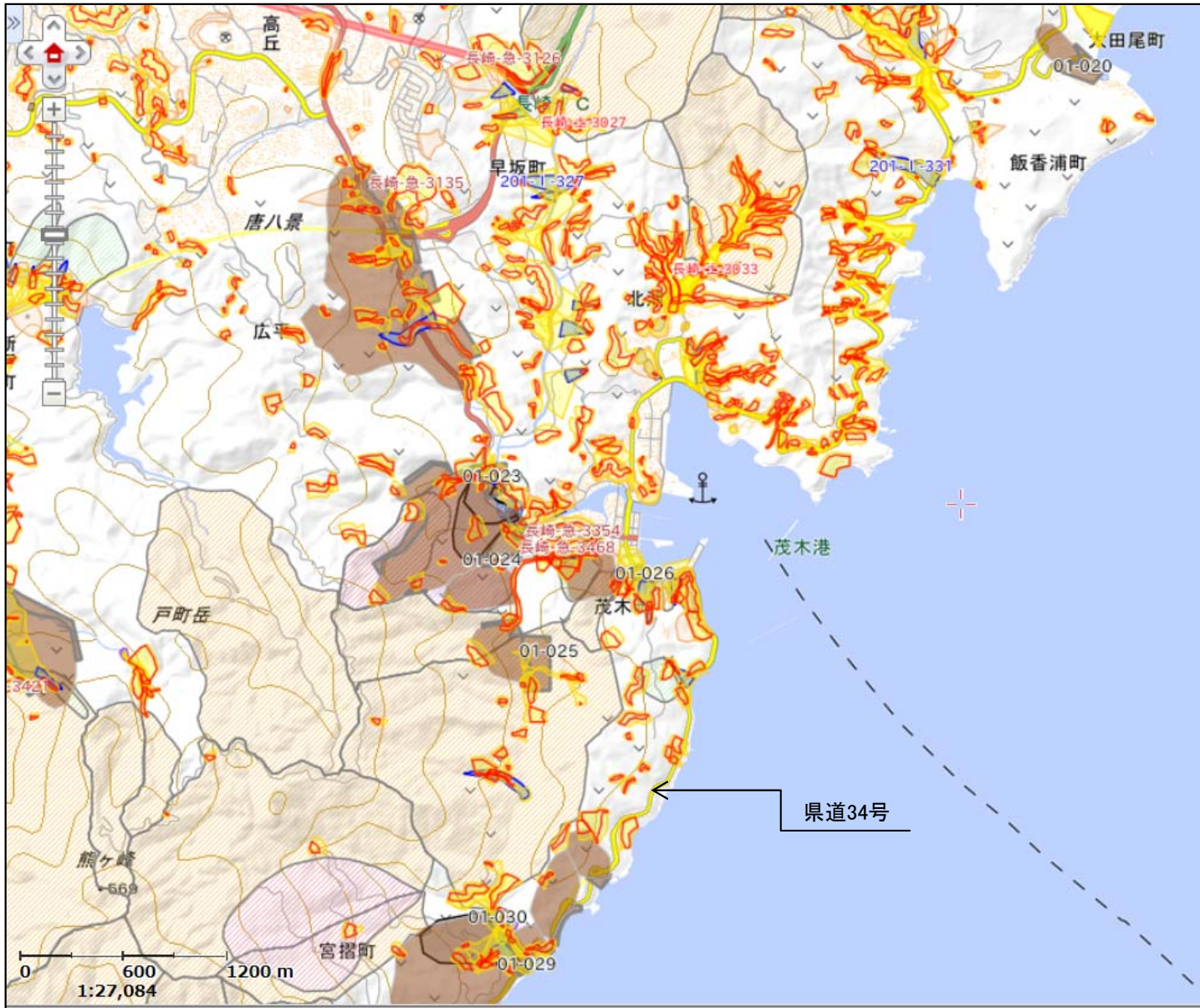
[過去10年間の避難勧告等の発令状況]

(出所:長崎県HP)

避難勧告

○平成28年6月22日

3-4. 長崎市防災情報マップ(茂木地区)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]

・人の居住・活動が予定されておらず「市街化を抑制すべき地域」として開発行為が原則的に禁止されている「市街化調整区域」が大半を占める地区。
 ・キャッチフレーズは「海と緑の自然環境に調和した農林水産業を主体とした都市づくり」。

[危険箇所等]

・左図の通り、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)・同警戒区域(イエローゾーン)のほか、地すべりや山地災害を警戒すべき地区を含む。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]

(出所:長崎県HP)

避難勧告

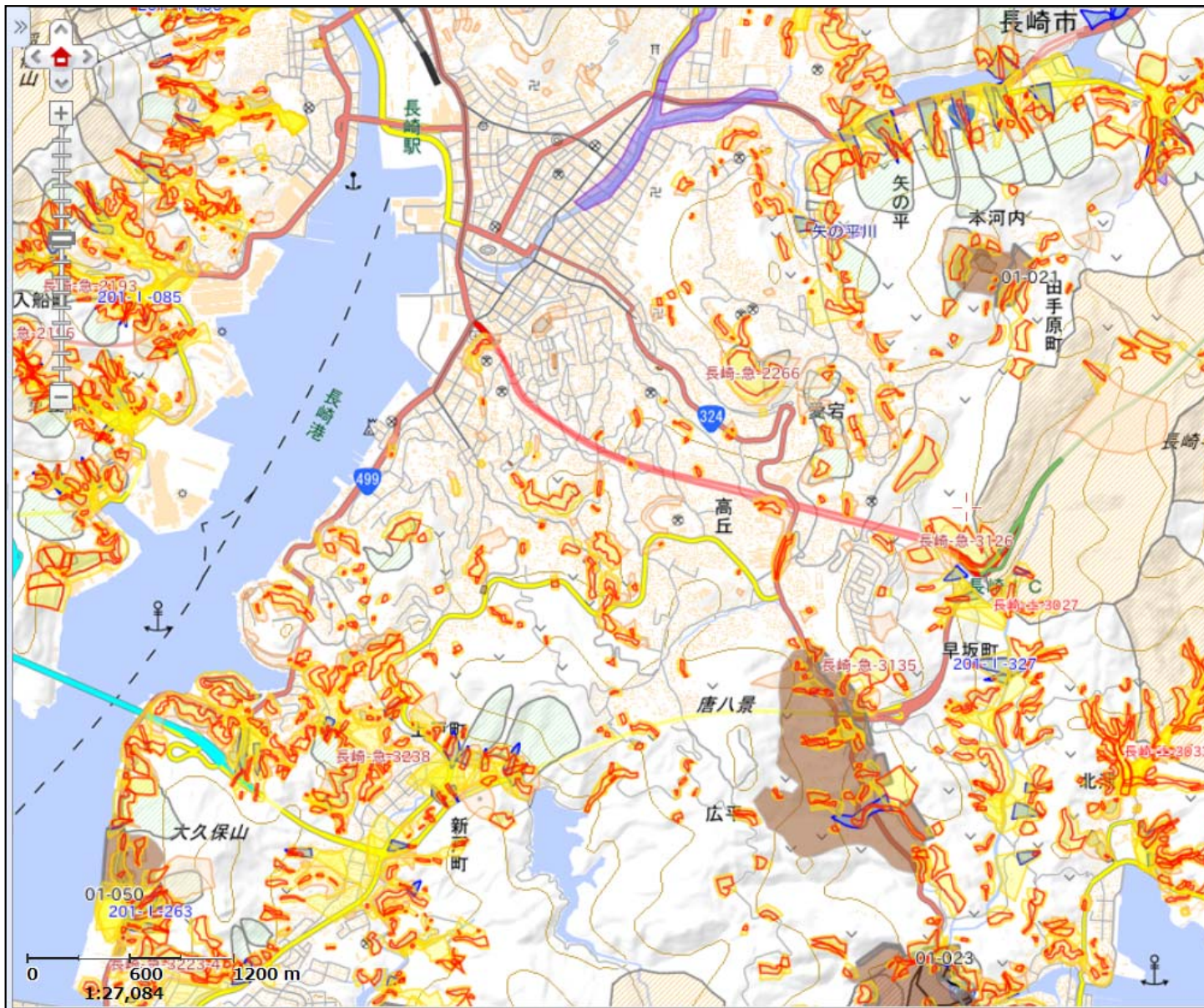
- ①平成28年6月22日
- ②平成28年6月20日

避難準備情報

- ①平成24年6月24日(一部)
- ②平成24年6月16日(一部)
- ③平成23年11月18日(一部)

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

3-5. 長崎市防災情報マップ(南部本庁地区)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	・土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]
 ・人の居住・活動が予定されている「市街化区域」と、人の居住・活動が予定されておらず、「市街化を抑制すべき地域」として開発行為が原則的に禁止されている「市街化調整区域」が混在している地区。
 ・キャッチフレーズは「国際交流の歴史と文化がもたらす情緒あふれる都市づくり」。

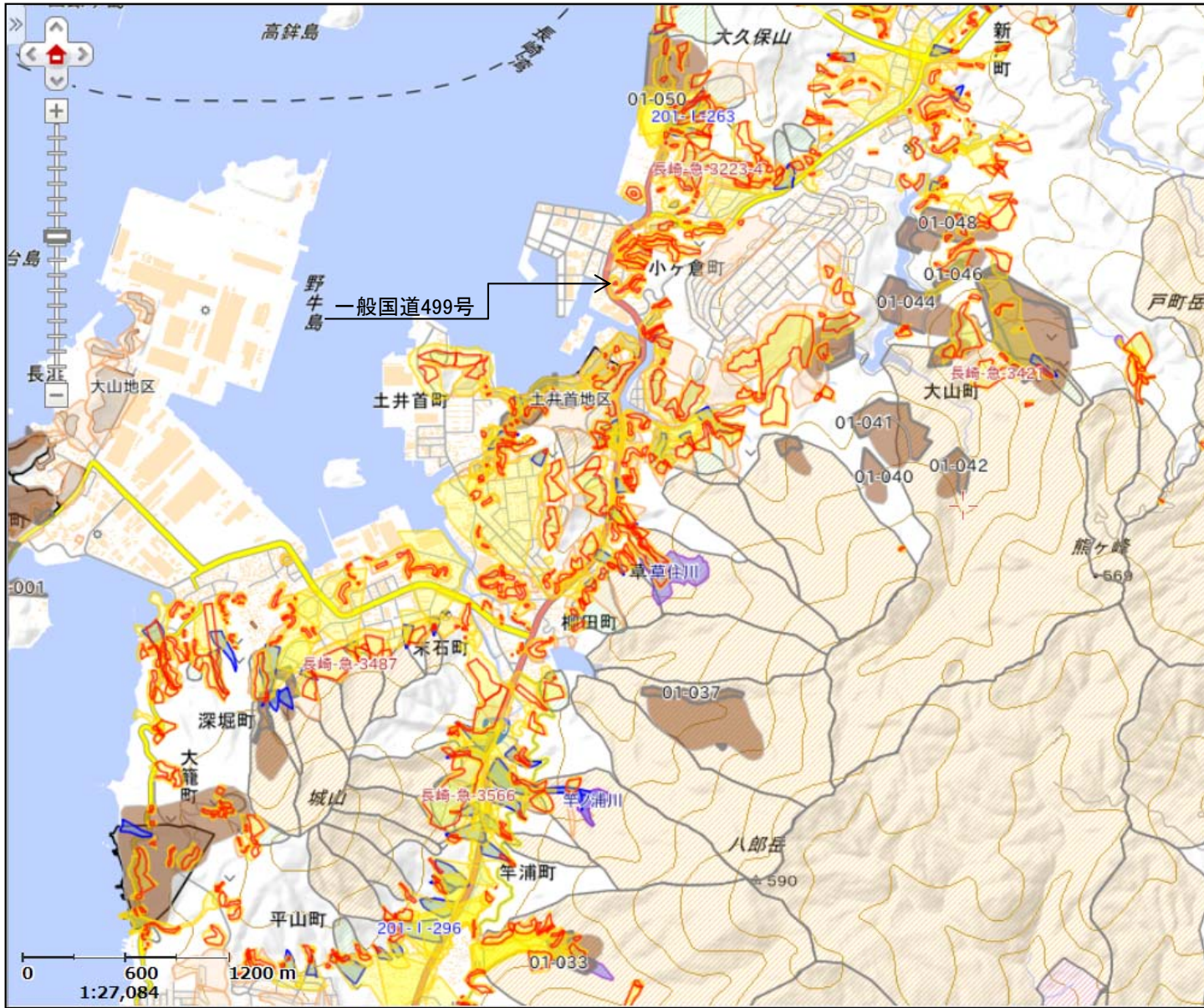
[危険箇所等]
 ・左図の通り、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)・同警戒区域(イエローゾーン)のほか、山地災害を警戒すべき地区を含む。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]
 (出所:長崎県HP)
 ・なし。

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

* 長崎市防災情報マップに基づき長崎大学が作成。

3-6. 長崎市防災情報マップ(小ヶ倉地区・土井首地区・深堀地区)



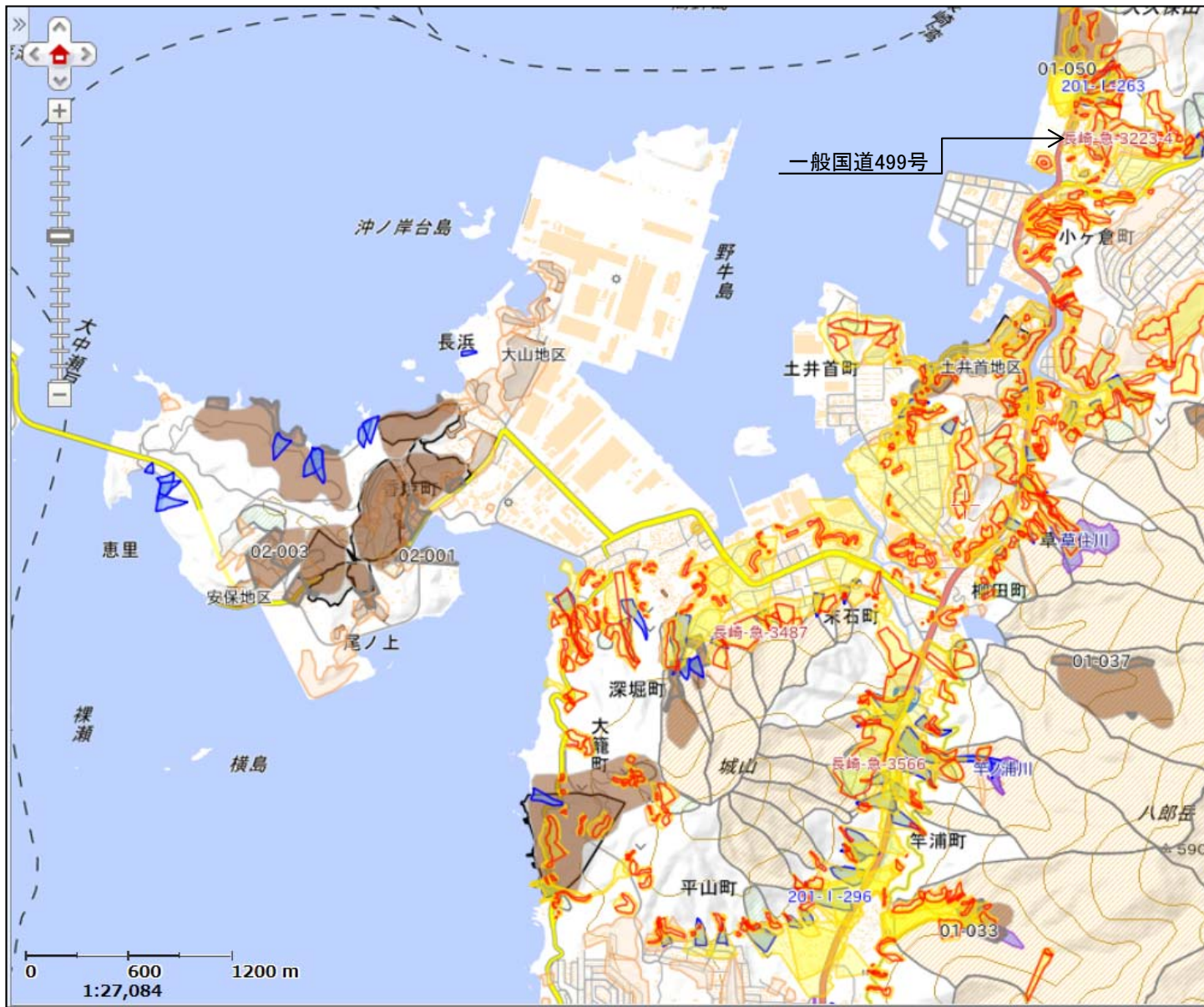
(注) 地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤: 土砂災害関連、青: 土石流関連、茶色: 地すべり関連)

凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]
 ・人の居住・活動が予定されている「市街化区域」と、人の居住・活動が予定されておらず、「市街化を抑制すべき地域」として開発行為が原則的に禁止されている「市街化調整区域」が混在している地区。
 ・キャッチフレーズは、以下の通り。
 小ヶ倉地区 「緑豊かなゆとりある住宅都市づくり」
 土井首地区 「交通アクセス強化に伴う市南部の拠点としての都市づくり」
 深堀地区 「歴史と産業と自然環境が調和した都市づくり」
[危険箇所等]
 ・左図の通り、山地災害や土石流を警戒すべき地区が広範に存在するほか、幹線道路沿いには土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)・同警戒区域(イエローゾーン)が指定されている。
[過去10年間の避難勧告等の発令状況]
 (出所: 長崎県HP)
避難勧告
 ①平成28年6月22日(土井首地区・深堀地区)
 ②平成28年6月20日(土井首地区・深堀地区)
避難準備情報
 ○平成28年6月29日(小ヶ倉地区)

* 長崎市防災情報マップに基づき長崎大学が作成。

3-7. 長崎市防災情報マップ(香焼地区)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	危険箇所
危険箇所	地すべり危険箇所
Color1	土石流危険渓流
Color2	急傾斜地崩壊危険箇所

[地区の概況]
 ・人の居住・活動が予定されている「市街化区域」が大半を占める地区。
 ・キャッチフレーズは「造船産業と海・緑・ふれあいのある住みよい都市づくり」。

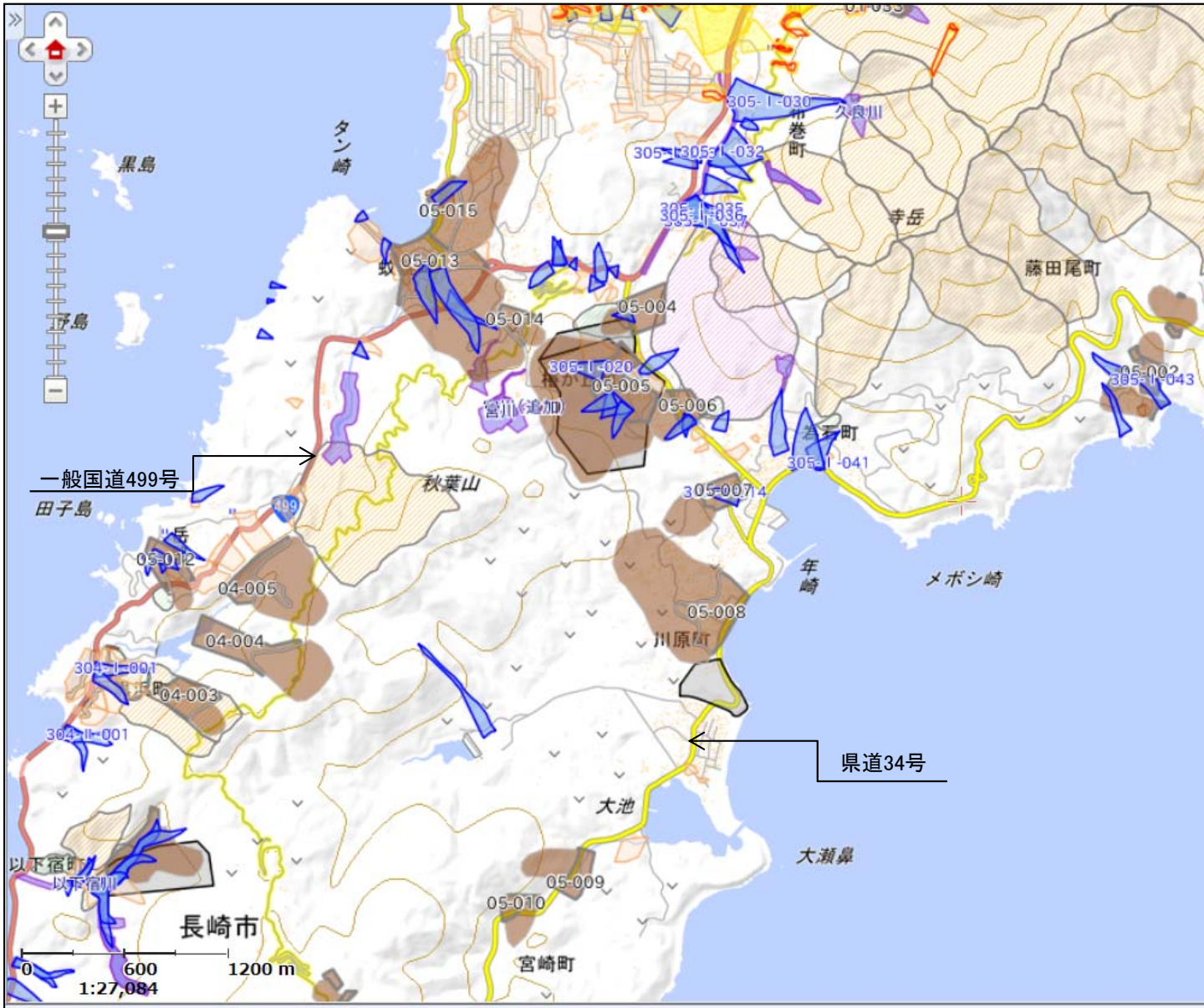
[危険箇所等]
 ・左図の通り、地すべりや山地災害を警戒すべき地区が広範に存在している。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]
 (出所:長崎県HP)
避難勧告
 ○平成28年6月22日

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

*長崎市防災情報マップに基づき長崎大学が作成。

3-8. 長崎市防災情報マップ(三和地区)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]

- ・一部が人の居住・活動の予定されている「非線引き都市計画区域」に指定されているが、そのほかは「都市計画区域外」となっている。
- ・キャッチフレーズは「地場産業の振興と快適に定住できる生活利便性が高い都市づくり」。

[危険箇所等]

- ・左図の通り、幹線道路沿いに地すべり、山地災害や土石流を警戒すべき地区が存在している。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]

(出所:長崎県HP)

避難勧告

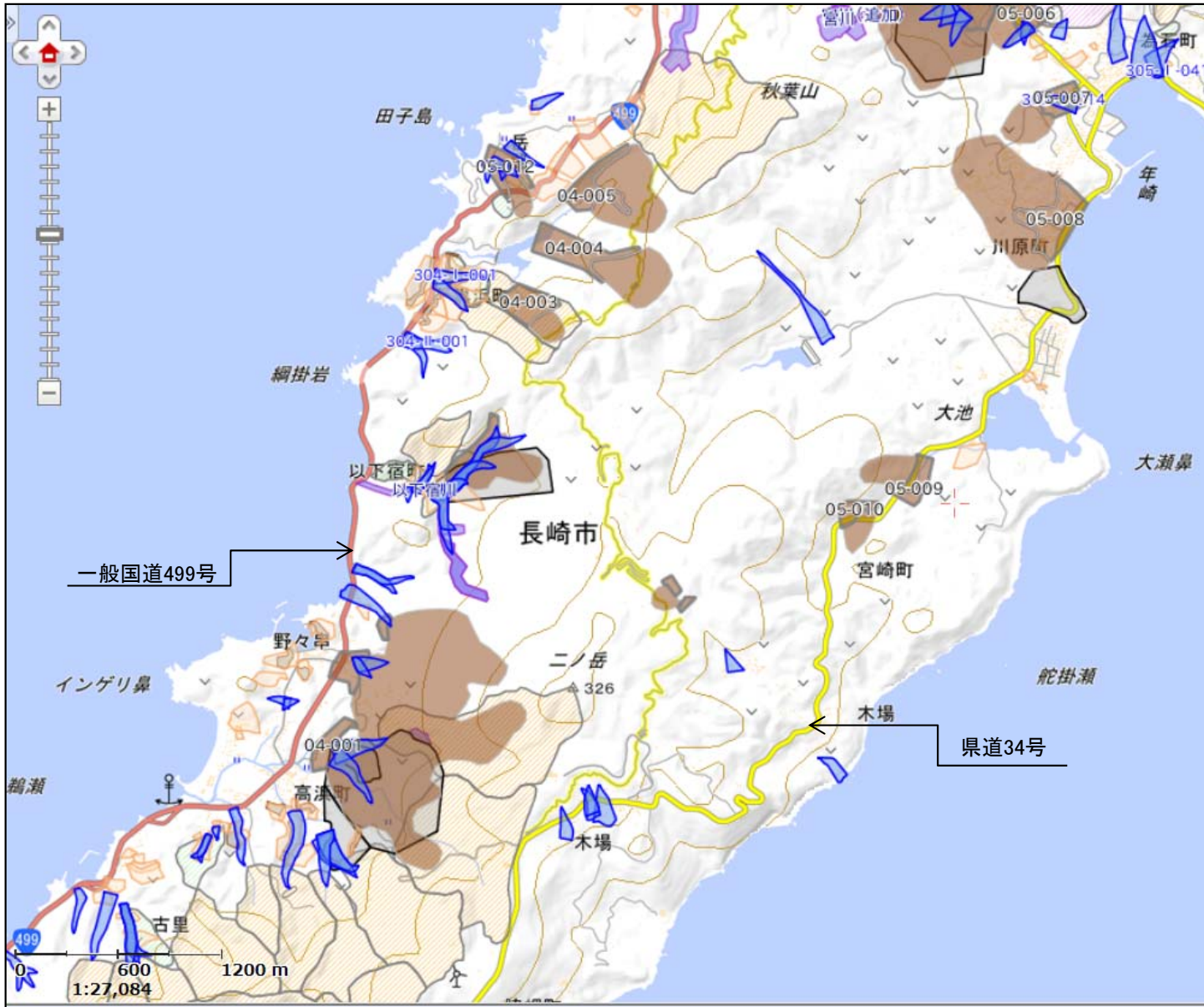
- ①平成28年6月22日
- ②平成28年6月20日

避難準備情報

- 平成24年6月16日

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

3-9. 長崎市防災情報マップ(野母崎地区①)



凡例

登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]

- ・全域が「都市計画区域外」となっている。
- ・キャッチフレーズは「農林水産業の振興と自然に恵まれた様々な観光資源を活かした都市づくり」。

[危険箇所等]

- ・左図の通り、幹線道路沿いに地すべり、山地災害や土石流を警戒すべき地区が存在している。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]

(出所:長崎県HP)

避難勧告

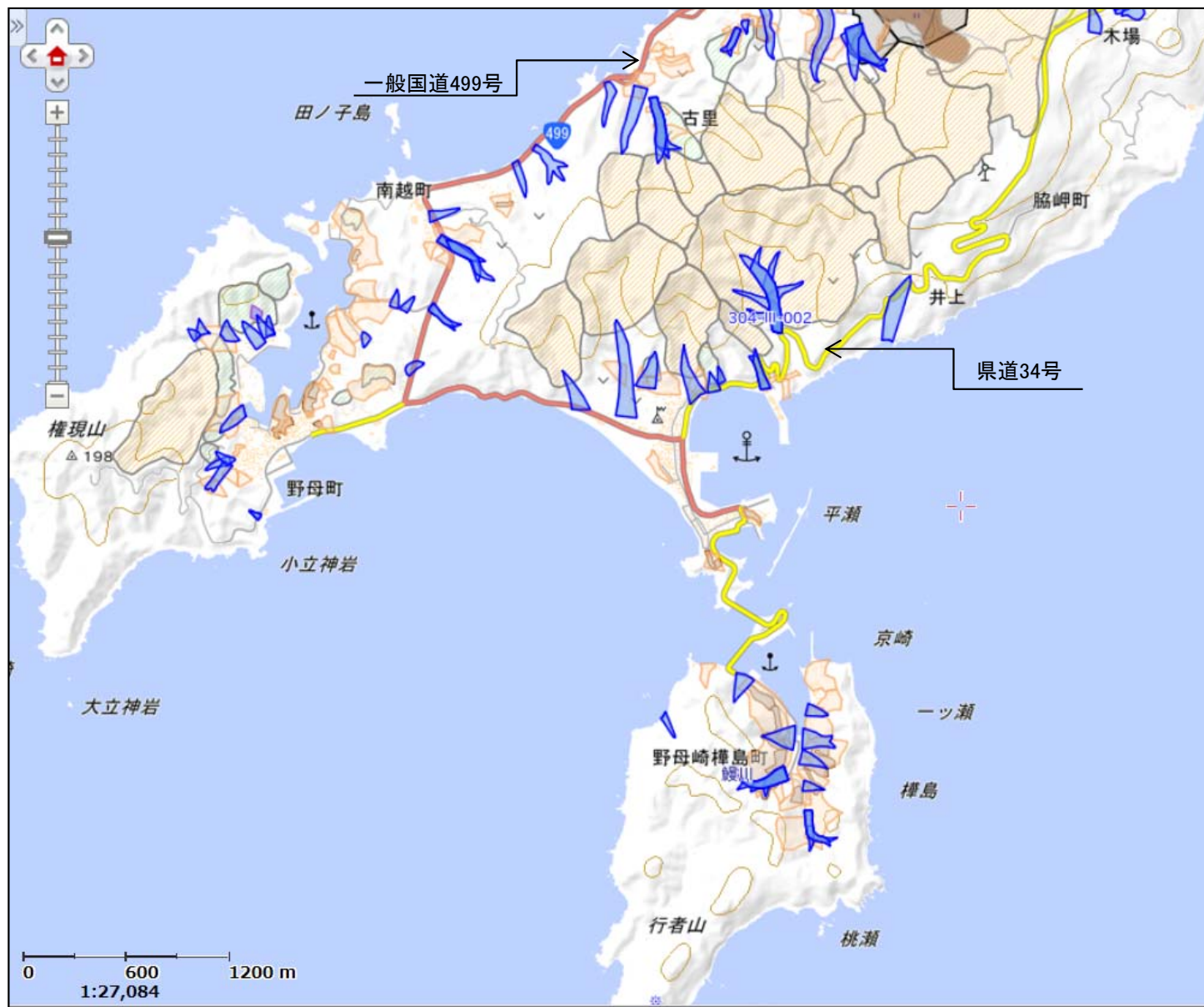
- ①平成28年6月22日
- ②平成28年6月20日

避難準備情報

- ①平成27年6月11日
- ②平成24年6月24日
- ③平成24年6月16日
- ④平成23年11月18日(一部)

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

3-10. 長崎市防災情報マップ(野母崎地区②)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]

・9. に同じ。

[危険箇所等]

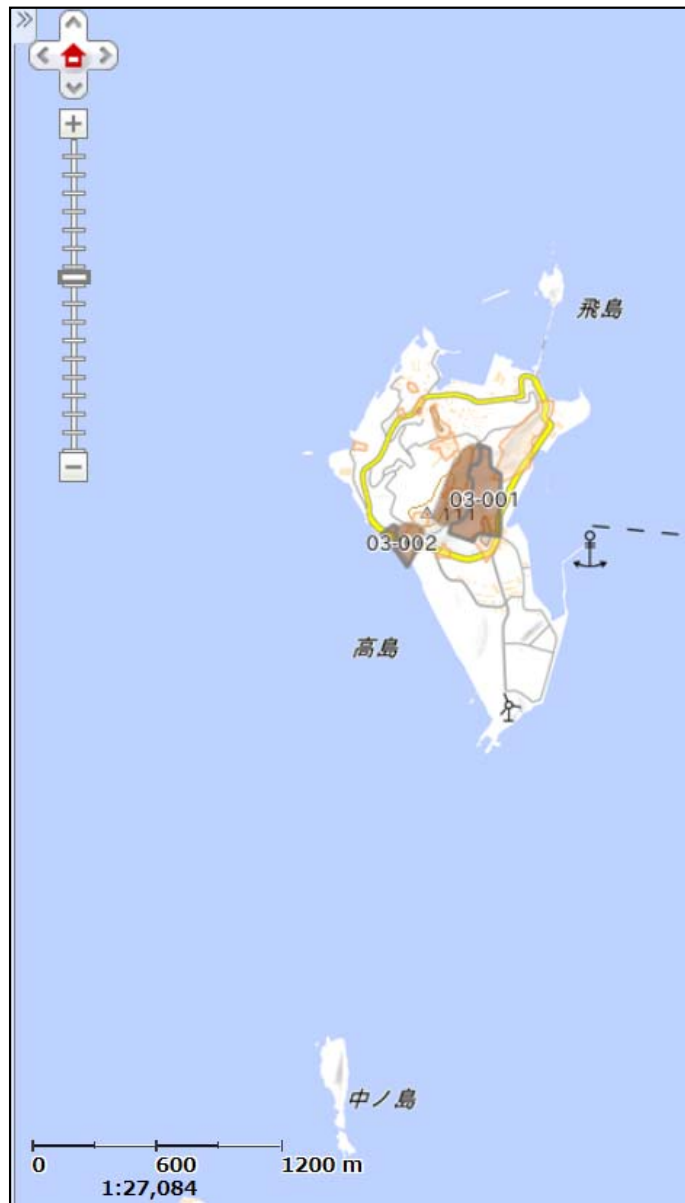
・左図の通り、山地災害を警戒すべき地区が広範に存在するほか、幹線道路沿いでは土石流が懸念される地区が少なくない。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況] (出所:長崎県HP)

・9. に同じ。

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
(赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

3-11. 長崎市防災情報マップ(伊王島地区・高島地区)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土石流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]

- ・全域が、人の居住・活動が予定されている「非線引き都市計画区域」となっている。
- ・キャッチフレーズは、以下の通り。
伊王島地区 「活力とやすらぎのある身近な海洋・スポーツリゾートと快適に定住できる都市づくり」
高島地区 「活力とにぎわいのある身近な海洋レクリエーションの場と自然環境と調和した快適に定住できる都市づくり」

[危険箇所等]

- ・左図の通り、地すべりを警戒すべき地区が存在している。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]

(出所:長崎県HP)

避難勧告

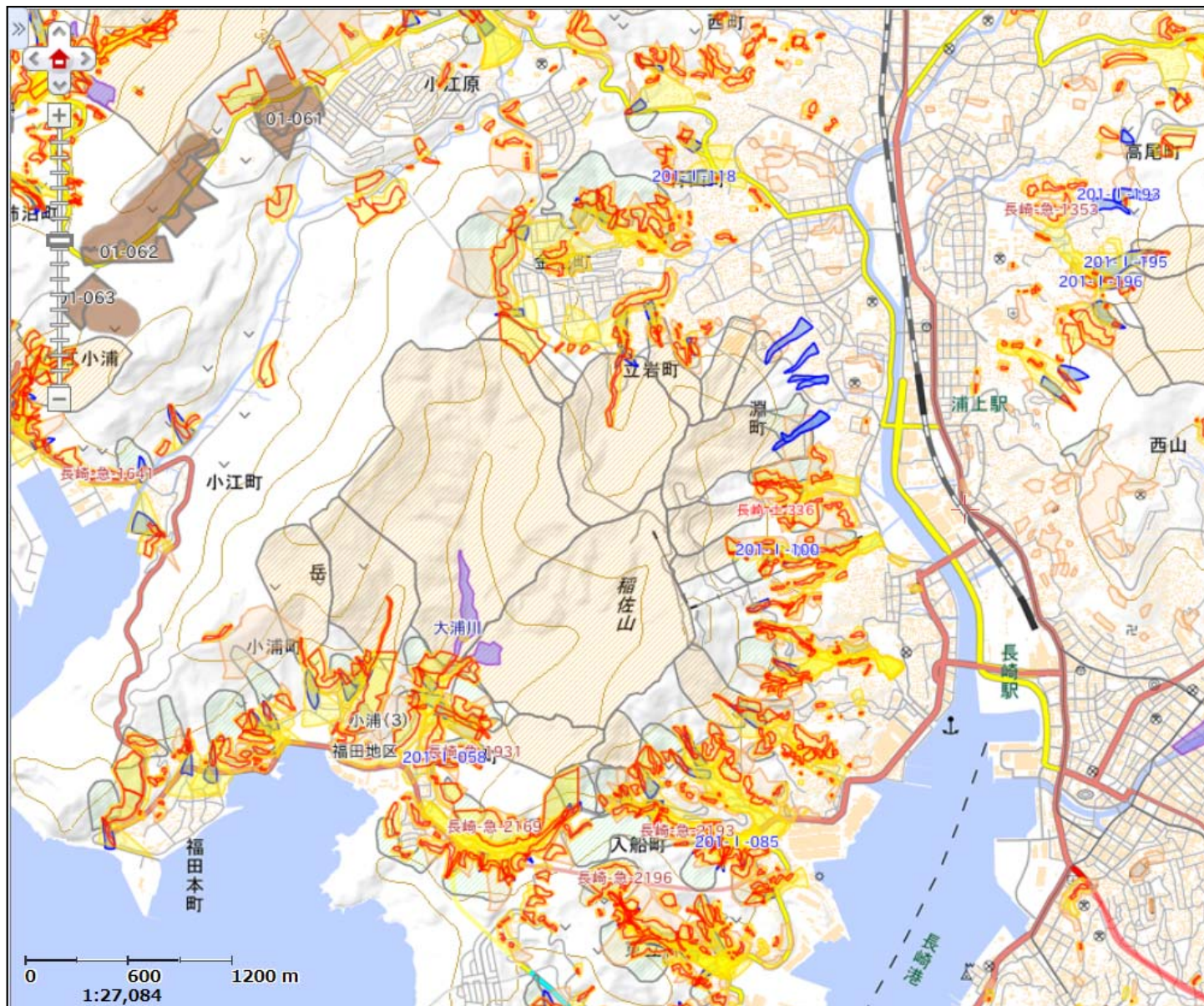
○平成28年6月22日

避難準備情報

○平成28年6月29日(伊王島地区)

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

3-12. 長崎市防災情報マップ(西部本庁地区)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	危険箇所
危険箇所	地すべり危険箇所
Color1	土石流危険渓流
Color2	急傾斜地崩壊危険箇所

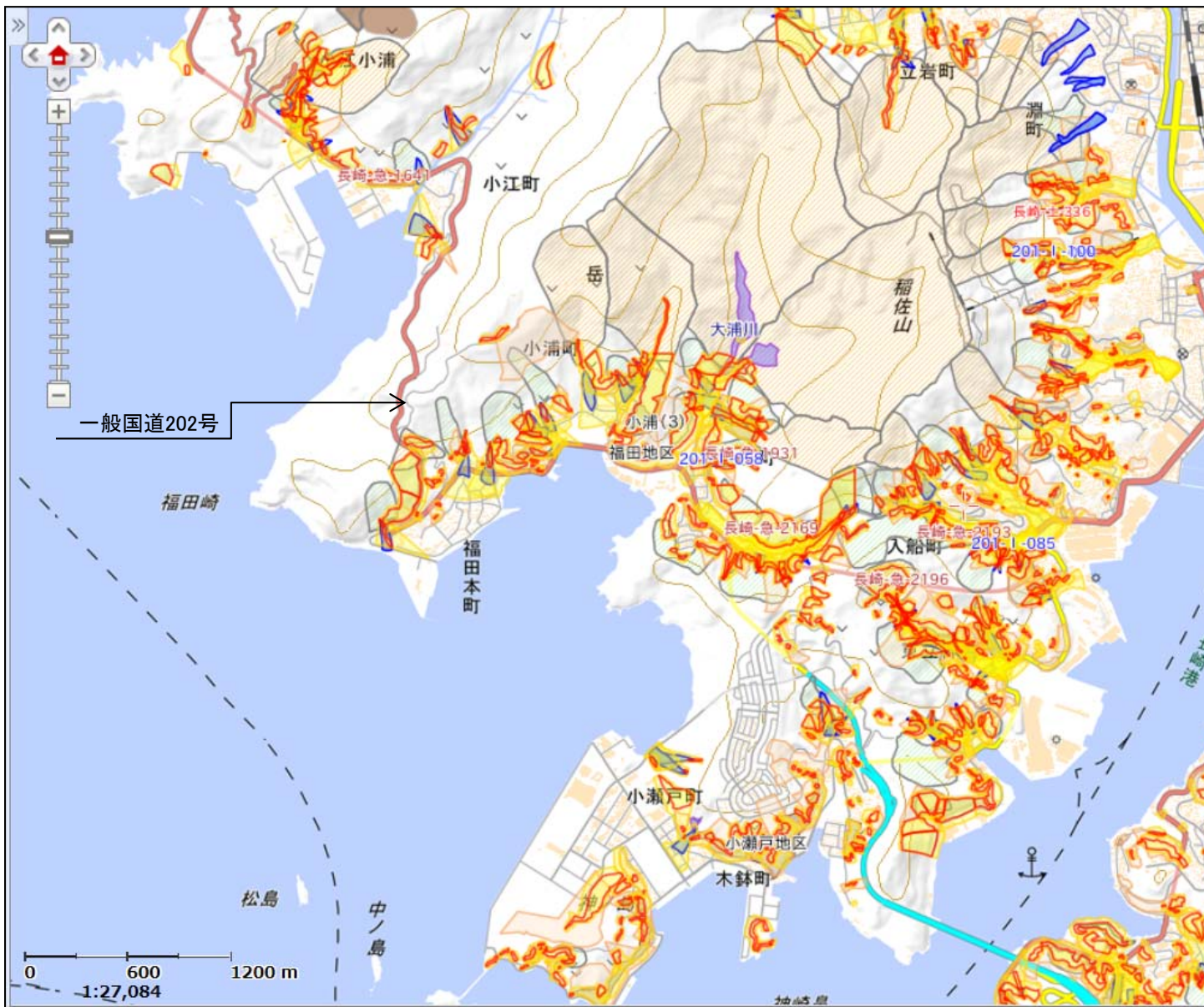
[地区の概況]
 ・人の居住・活動が予定されている「市街化区域」と、人の居住・活動が予定されておらず、「市街化を抑制すべき地域」として開発行為が原則的に禁止されている「市街化調整区域」が混在している地区。
 ・キャッチフレーズは「豊かな自然と工業地が調和した住みよい都市づくり」。

[危険箇所等]
 ・左図の通り、稲佐山周辺には、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)・同警戒区域(イエローゾーン)が多数存在し、山地災害を警戒すべき地区も存在している。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]
 (出所:長崎県HP)
 ・なし。

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

3-13. 長崎市防災情報マップ(福田地区・小湊地区)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]

- ・人の居住・活動が予定されている「市街化区域」と、人の居住・活動が予定されておらず、「市街化を抑制すべき地域」として開発行為が原則的に禁止されている「市街化調整区域」が混在している地区。
- ・キャッチフレーズは、以下の通り。

福田地区 「スポーツ・海洋レクリエーション拠点と工業団地、住環境が調和した都市づくり」

小湊地区 「緑と工業地と住環境が調和した都市づくり」

[危険箇所等]

- ・左図の通り、幹線道路沿いに土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)・同警戒区域(イエローゾーン)が多数存在している。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]
(出所:長崎県HP)

避難勧告

- 平成28年6月22日

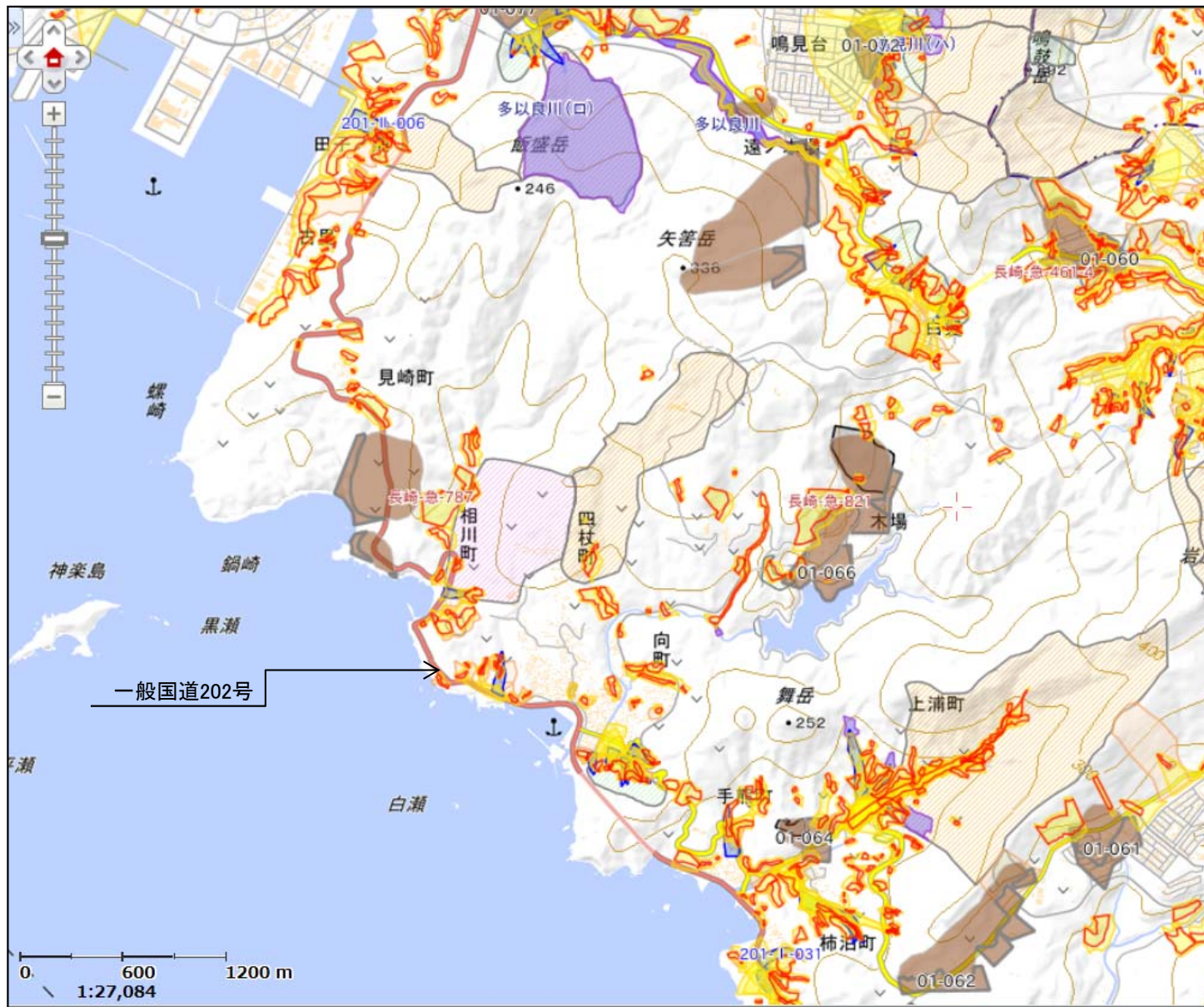
避難準備情報

- 平成28年6月29日(小湊地区)

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
(赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

* 長崎市防災情報マップに基づき長崎大学が作成。

3-14. 長崎市防災情報マップ(式見地区)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

【地区の概況】

・大半が、人の居住・活動が予定されておらず、「市街化を抑制すべき地域」として開発行為が原則的に禁止されている「市街化調整区域」となっている。
 ・キャッチフレーズは「長崎市いこいの里(あぐりの丘)等の豊かな自然との調和と交流のある都市づくり」。

【危険箇所等】

・左図の通り、地すべりや山地災害を警戒すべき地区が広範に存在するほか、幹線道路沿いには、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)・同警戒区域(イエローゾーン)が見受けられる。

【過去10年間の避難勧告等の発令状況】

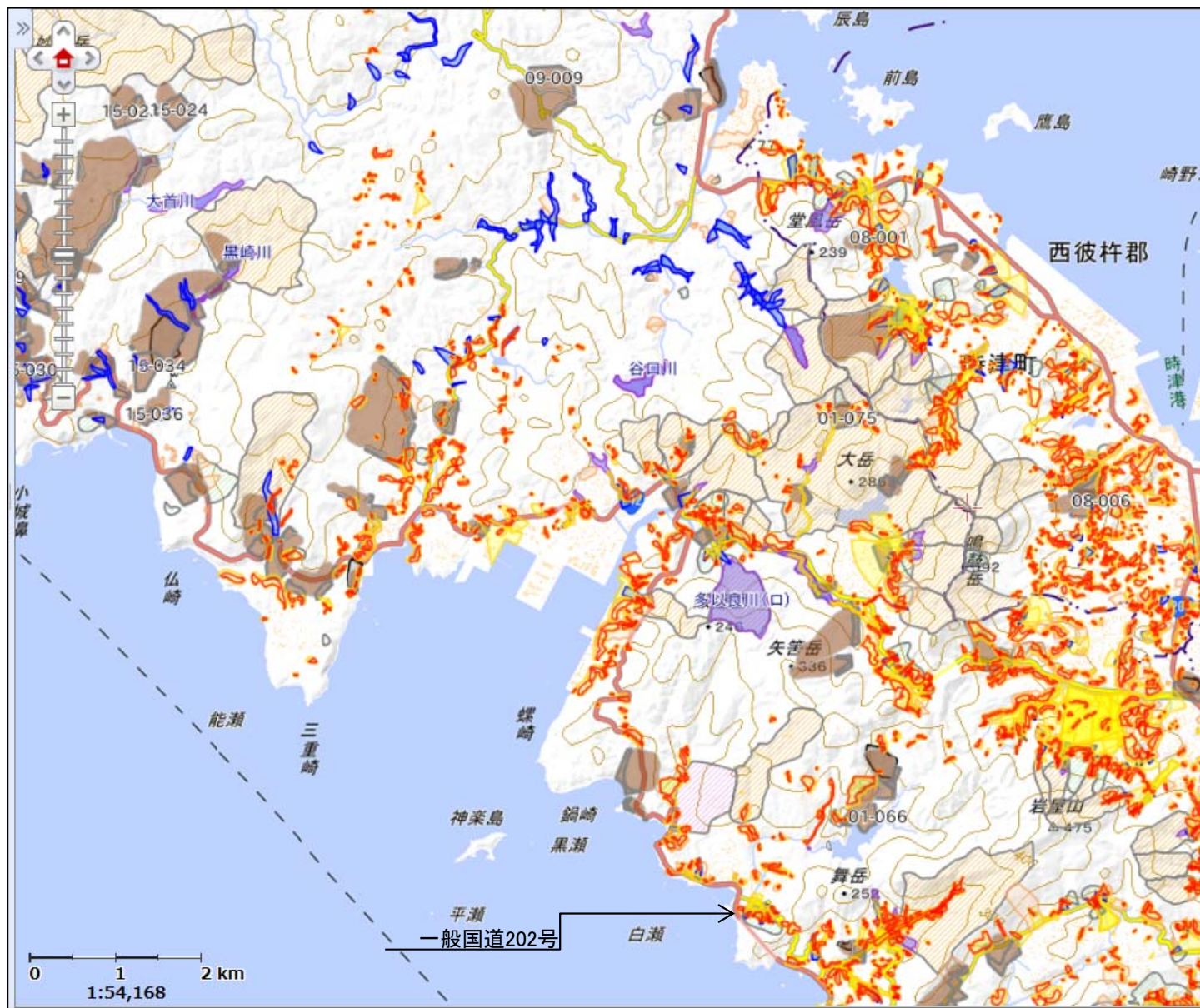
(出所:長崎県HP)

避難準備情報

○平成26年8月24日

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

3-15. 長崎市防災情報マップ(三重地区)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]

・人の居住・活動が予定されている「市街化区域」と、人の居住・活動が予定されておらず、「市街化を抑制すべき地域」として開発行為が原則的に禁止されている「市街化調整区域」が混在する地区。
 ・キャッチフレーズは「西部市街地圏域における拠点として、農林水産業と住環境が調和した計画的な都市づくり」。

[危険箇所等]

・左図の通り、幹線道路沿いには、地すべり、山地災害、土石流を警戒すべき地区が相当存在するほか、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)・同警戒区域(イエローゾーン)が見受けられる。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]

(出所:長崎県HP)

・なし。

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

3-16. 長崎市防災情報マップ(琴海地区)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]

・人の居住・活動が予定されている「非線引き都市計画区域」と「都市計画区域外」が混在している地区。
 ・キャッチフレーズは「農業を中心とした地場産業の振興と安全・便利・快適に定住できる都市づくり」。

[危険箇所等]

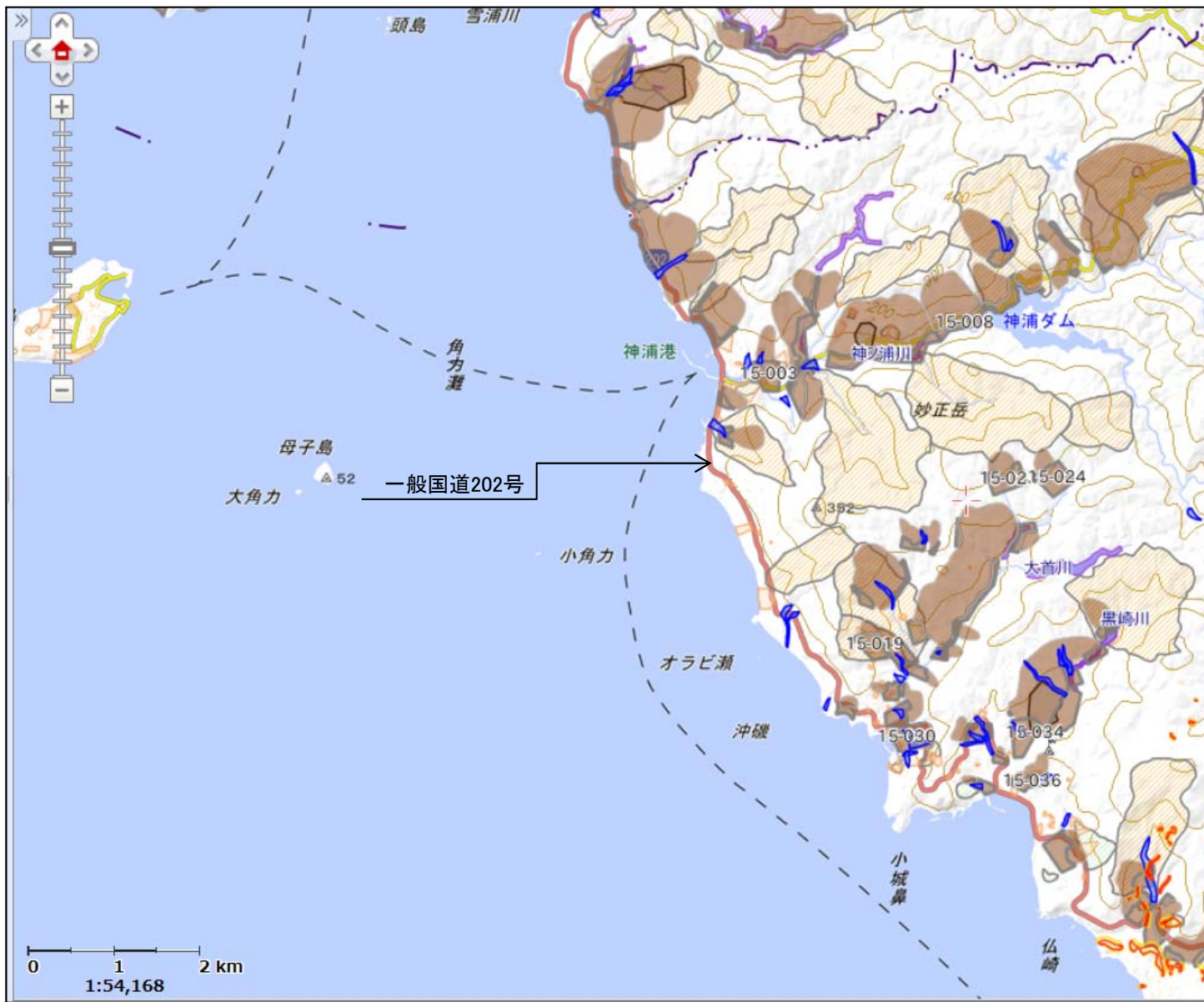
・左図の通り、幹線道路沿いに、地すべりや土石流、山地災害を警戒すべき地区が少なくない。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]

(出所:長崎県HP)
避難勧告
 ○平成28年6月22日

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

3-17. 長崎市防災情報マップ(外海地区)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]

- ・全域が「都市計画区域外」となっている。
- ・キャッチフレーズは「農林水産業の振興と美しい自然と国際色豊かな歴史を活かした都市づくり」。

[危険箇所等]

- ・左図の通り、幹線道路沿いに、地すべり、山地災害や土石流を警戒すべき区域が多い。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]
 (出所:長崎県HP)

避難勧告

- ①平成28年6月22日
- ②平成27年8月12日(一部)

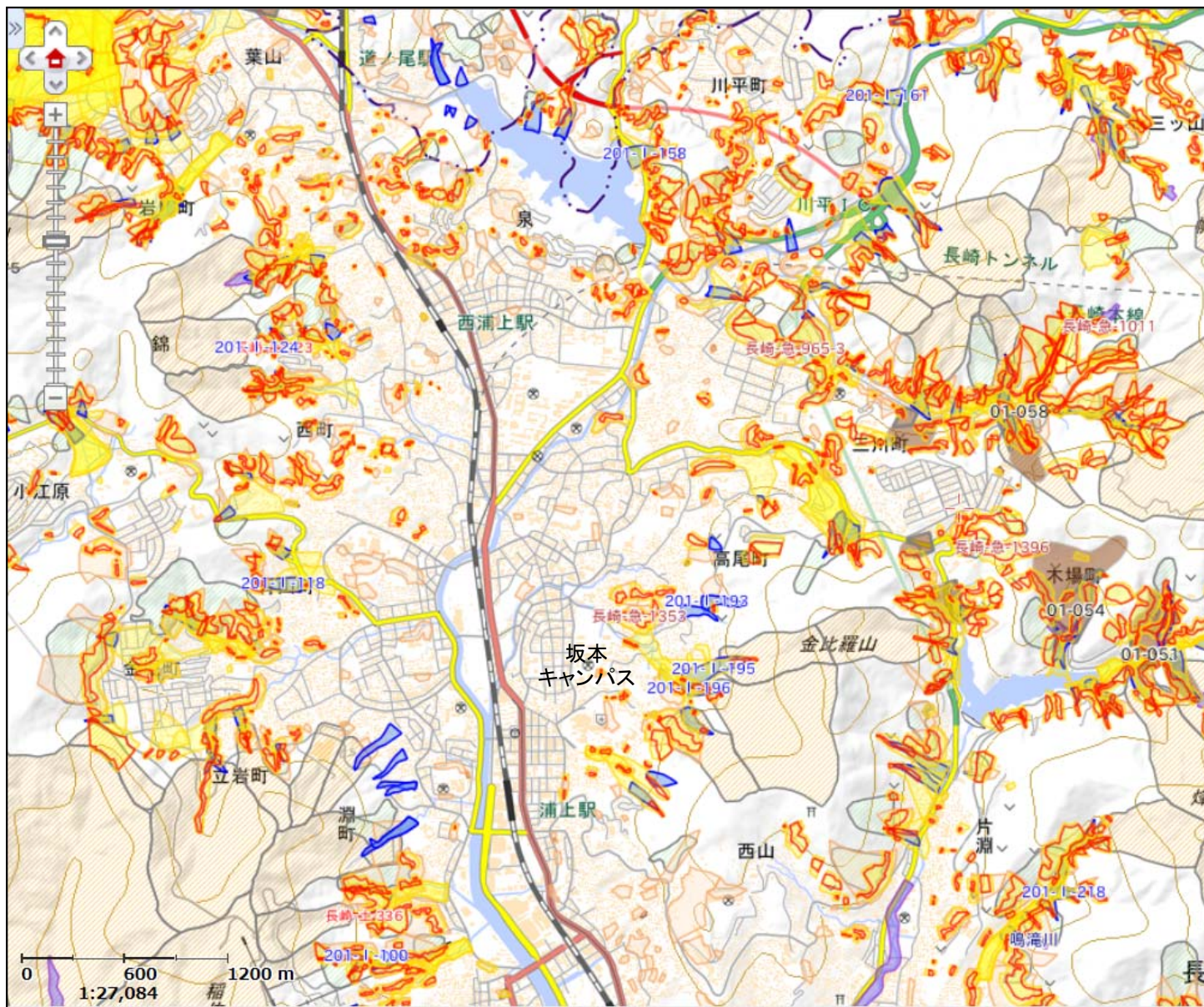
避難準備情報

- 平成26年8月4日(一部)

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

*長崎市防災情報マップに基づき長崎大学が作成。

3-18. 長崎市防災情報マップ(北部本庁地区)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	
危険箇所	危険箇所
・地すべり危険箇所	・土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]

・人の居住・活動が予定されている「市街化区域」と、人の居住・活動が予定されておらず、「市街化を抑制すべき地域」として開発行為が原則的に禁止されている「市街化調整区域」が混在している地区。
 ・キャッチフレーズは「国際平和文化都市の拠点として、交流と活力のある都市づくり」。

[危険箇所等]

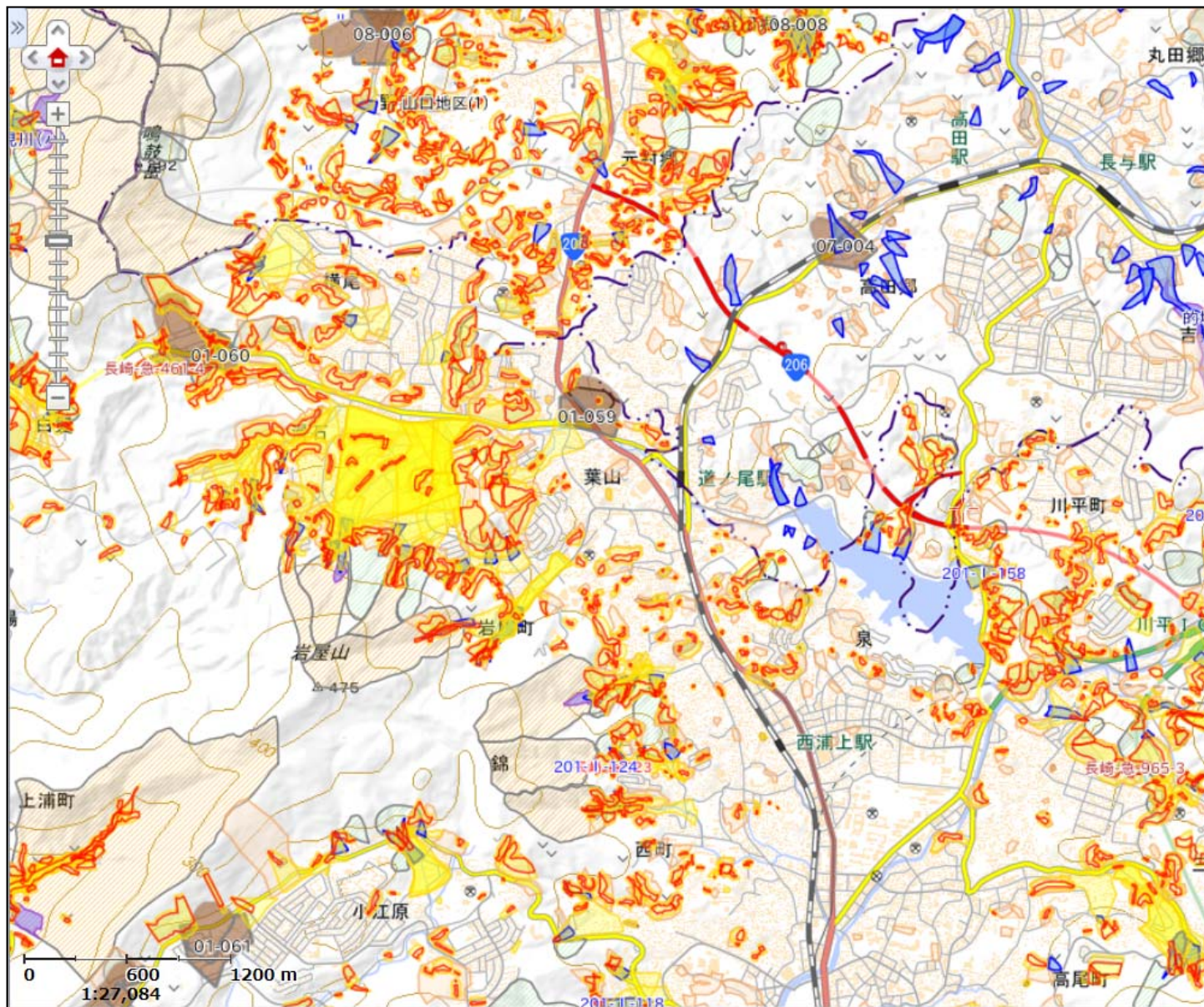
(嚴重に要チェック)
 ・山地災害を警戒すべき地区や土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)・同警戒区域(イエローゾーン)が多数存在するが、坂本キャンパス周辺にはほぼない。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]

(出所:長崎県HP)
 ・なし。

(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

3-19. 長崎市防災情報マップ(西浦上地区)



凡例	
登録情報	危険区域
土砂災害	急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
特別警戒区域(崖崩れ)	砂防指定地
特別警戒区域(土石流)	山地_山腹崩壊
土砂災害警戒区域	山地_地すべり
警戒区域(崖崩れ)	山地_崩壊土砂流出
警戒区域(土石流)	危険箇所
危険箇所	危険箇所
地すべり危険箇所	土石流危険渓流
Color1	急傾斜地崩壊危険箇所
Color2	

[地区の概況]

・人の居住・活動が予定されている「市街化区域」と、人の居住・活動が予定されておらず、「市街化を抑制すべき地域」として開発行為が原則的に禁止されている「市街化調整区域」が混在している地区。

・キャッチフレーズは、以下の通り。

川平地区「自然環境と共存し、都市基盤整備と災害に強いと都市づくり」

住吉地区「副都心におけるにぎわいと活力のある都市づくり」

滑石地区「大型住宅団地の再生による住みつけたい魅力ある住宅都市づくり」

[危険箇所等]

・山地災害や地すべりを警戒すべき地区を含むほか、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)・同警戒区域(イエローゾーン)も少なくない。

[過去10年間の避難勧告等の発令状況]

(出所:長崎県HP)

・なし。

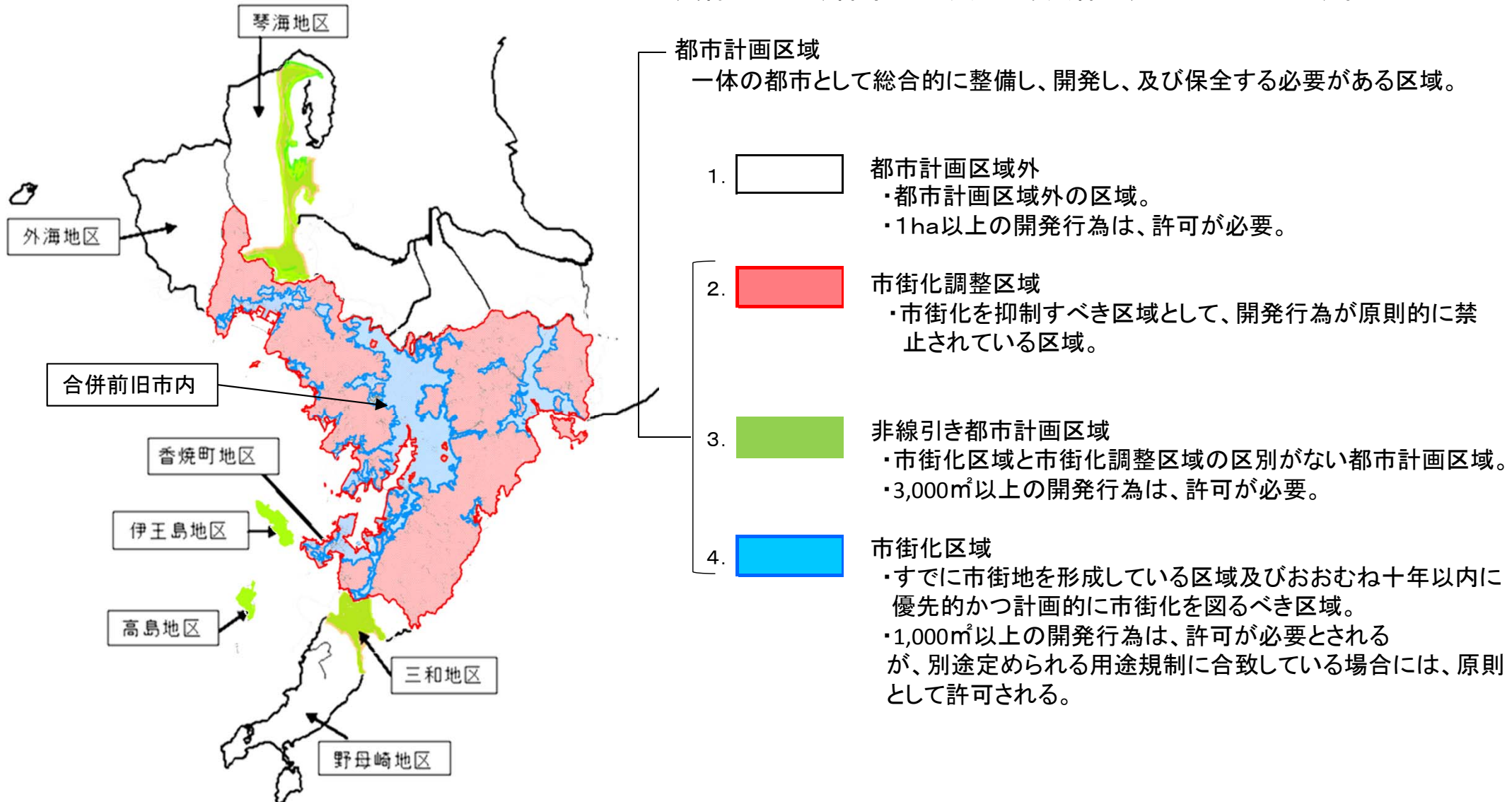
(注)地図上の番号は、各災害危険場所のナンバー。その地点の主たる災害に合わせて番号を着色。
 (赤:土砂災害関連、青:土石流関連、茶色:地すべり関連)

*長崎市防災情報マップに基づき長崎大学が作成。

4. 長崎市の都市基盤

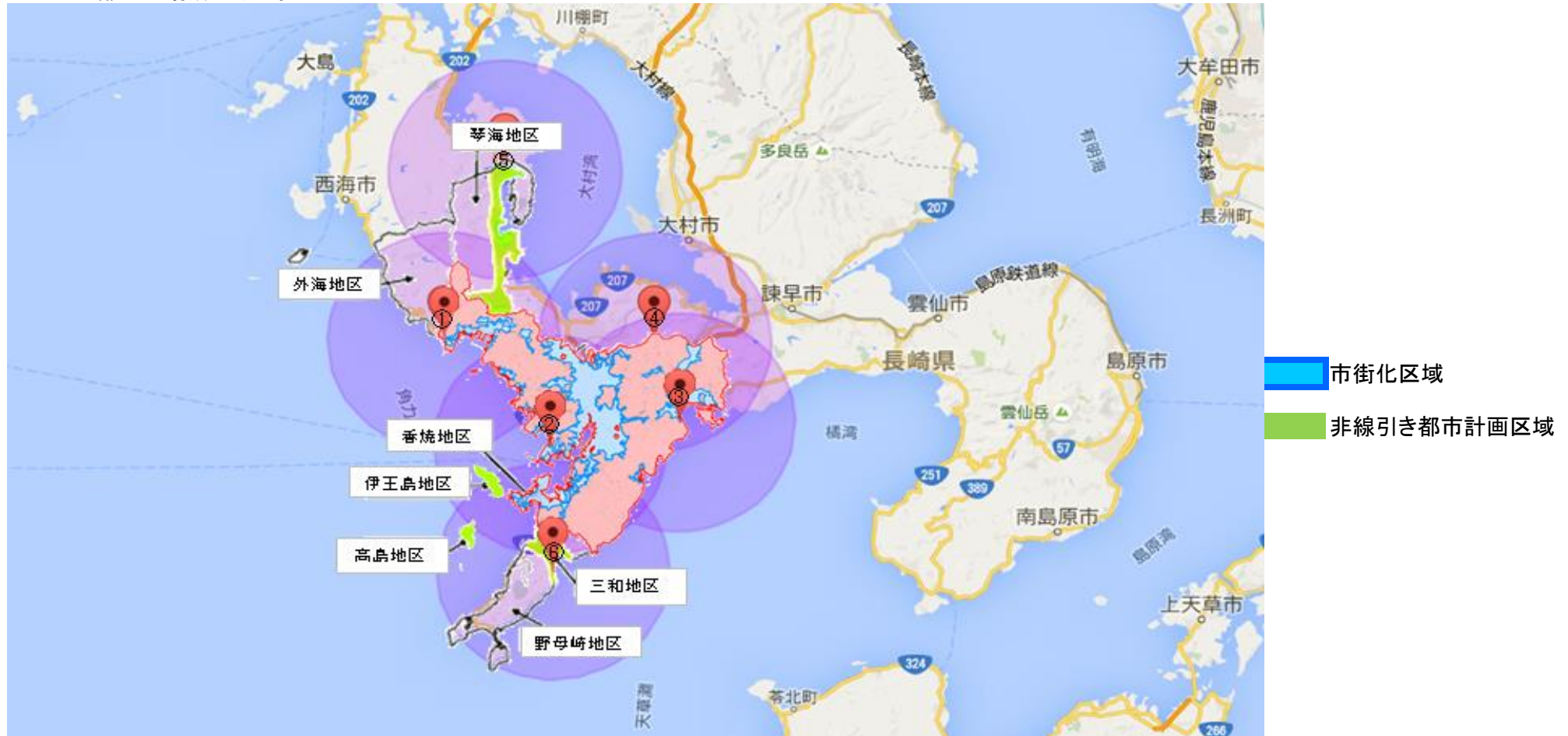
(1) 都市計画規制

我が国には、「まちづくりのきまりごと」があります。
具体的には、都市計画法という法律で定められています。



(参考資料2) 長崎市の市街化区域等からの10km圏

長崎市における市街化区域または非線引き都市計画区域(人の居住・活動が予定されている区域。)からの10km圏は以下の通り。
 但し、都市計画区域外、市街化調整区域にも、人が居住している場合があり、それを考慮すれば、長崎市内には人が居住している場所から10km離れた場所はない。



(注) 地点①～⑥は以下の通り。

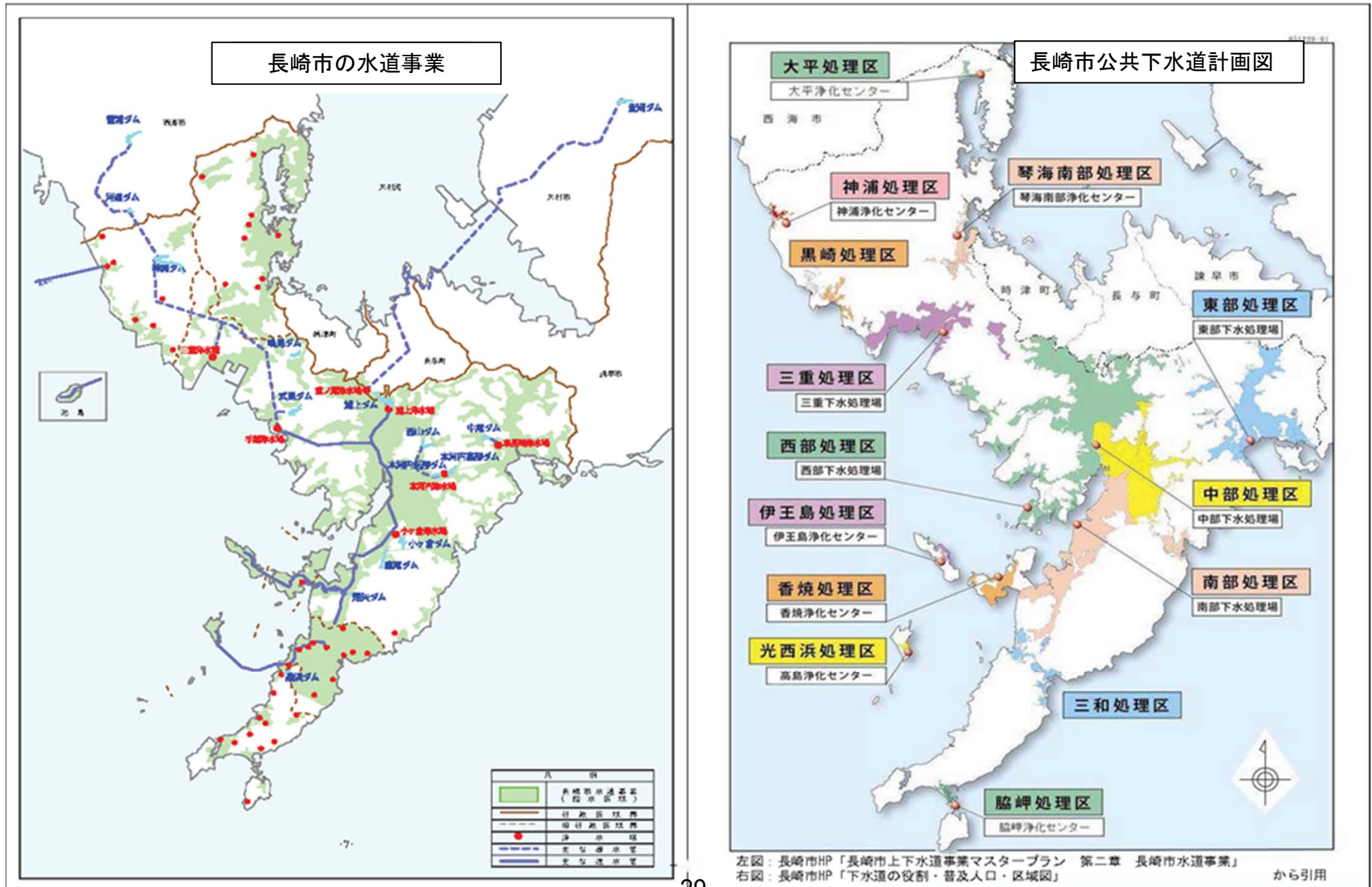
- ①長崎県長崎市榎山町3042
- ②長崎県長崎市小瀬戸町997
- ③長崎県長崎市網場町257-12
- ④長崎県長崎市畦別当町119
- ⑤長崎県長崎市琴海大平町1497
- ⑥長崎県長崎市宮崎町1014

都市計画区域内の市街化区域(すでに市街地を形成している区域及びおおむね十年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域)と市街化調整区域(市街化を抑制すべき区域)の境界上の地点。
 都市計画区域内の市街化区域と市街化調整区域の境界上の地点。
 都市計画区域内の市街化区域と市街化調整区域の境界上の地点。
 都市計画区域内の市街化区域と市街化調整区域の境界上の地点。
 非線引き都市計画区域(市街化区域と市街化調整区域の区別がない都市計画区域)と都市計画区域外の境界上の地点。
 非線引き都市計画区域と都市計画区域外の境界上の地点。

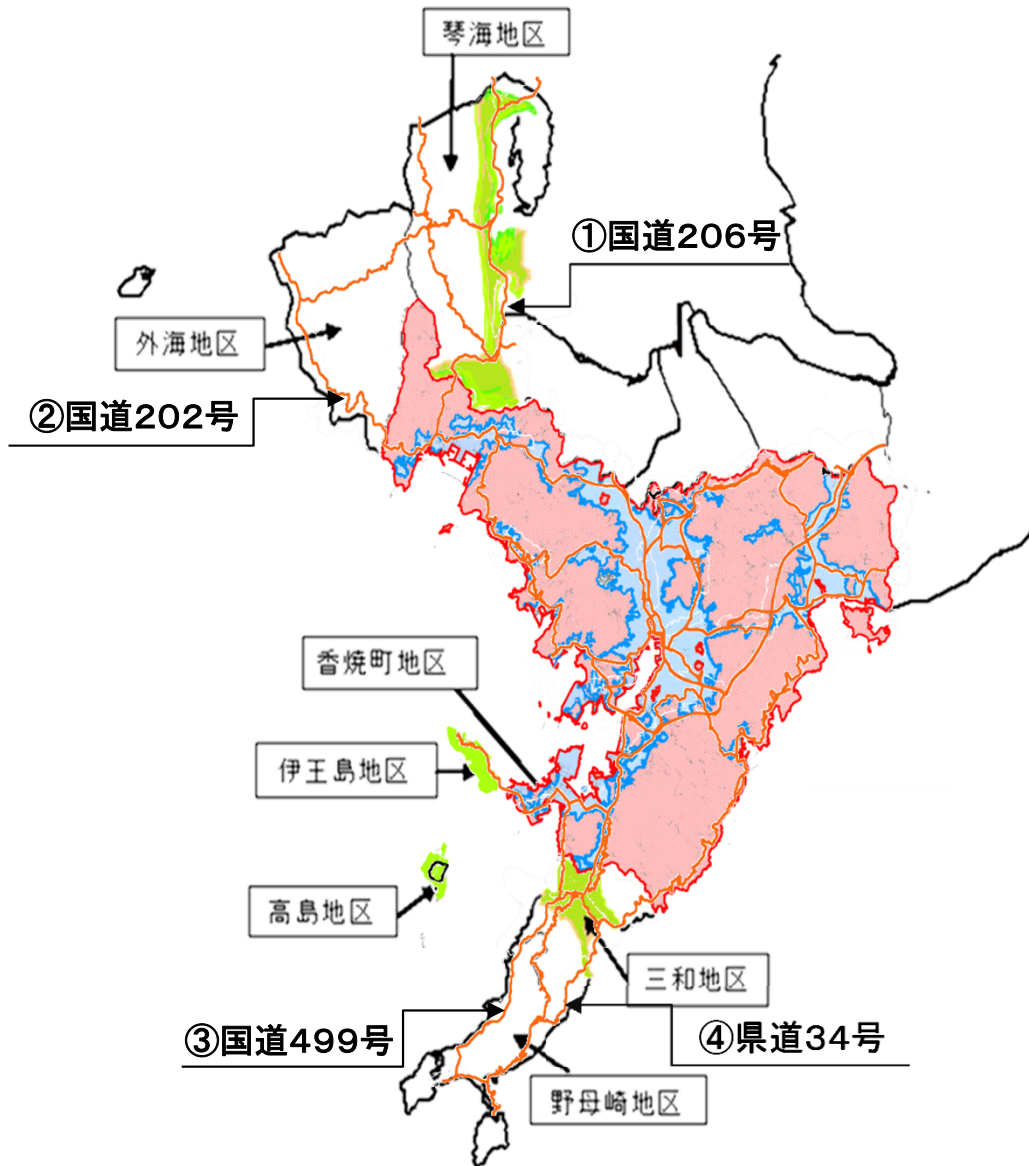
(2) 上下水道 — BSL-4施設の安全な運営のためには、水が何より重要です。

実験室からの退出の際の薬液シャワーでの滅菌に大量の水を使用します。

したがって、以下の図に示されている水道事業や公共下水道事業が行われている地域に設置することが重要です。



(3) 交通アクセス — 安全かつ効果的にBSL-4施設を運営するためには、大学本部や坂本キャンパスからの良好なアクセスが不可欠です。



交通アクセスについては、先に見たように地形や天候との関係が極めて重要ですが、それ以外にも以下のような事情を考える必要があります。

*長崎県 平成27年度第1回長崎県交通渋滞対策協議会資料

・市内中心部に向かう道路は国道34号や202号、206号、499号等の路線に限られることから、これら路線では交通の集中により、交通容量が不足しており、速度サービスの低下や渋滞が発生している。

・人身事故件数

- | | | |
|-----------------|-------|------|
| ① 国道206号(時津署管内) | 平成26年 | 168件 |
| | 平成27年 | 181件 |
| ② 国道202号(時津署管内) | 平成26年 | 22件 |
| | 平成27年 | 27件 |
| ③ 国道499号(大浦署管内) | 平成26年 | 163件 |
| | 平成27年 | 134件 |

*人身事故件数は、時津警察署・大浦警察署から聞き取り、長崎大学が作成。

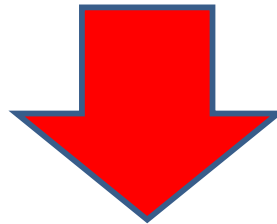
(参考) 研究環境における交通アクセスの重要性

○ハード面での研究環境

- 研究用資材(実験用試薬、実験用プラスチック器具、研究用酵素等)が速やかに入手可能な環境が必要。
- 研究用機器(遺伝子関連解析装置、低温フリーザー、安全キャビネット等)のメンテナンスが速やかに行える環境が必要。

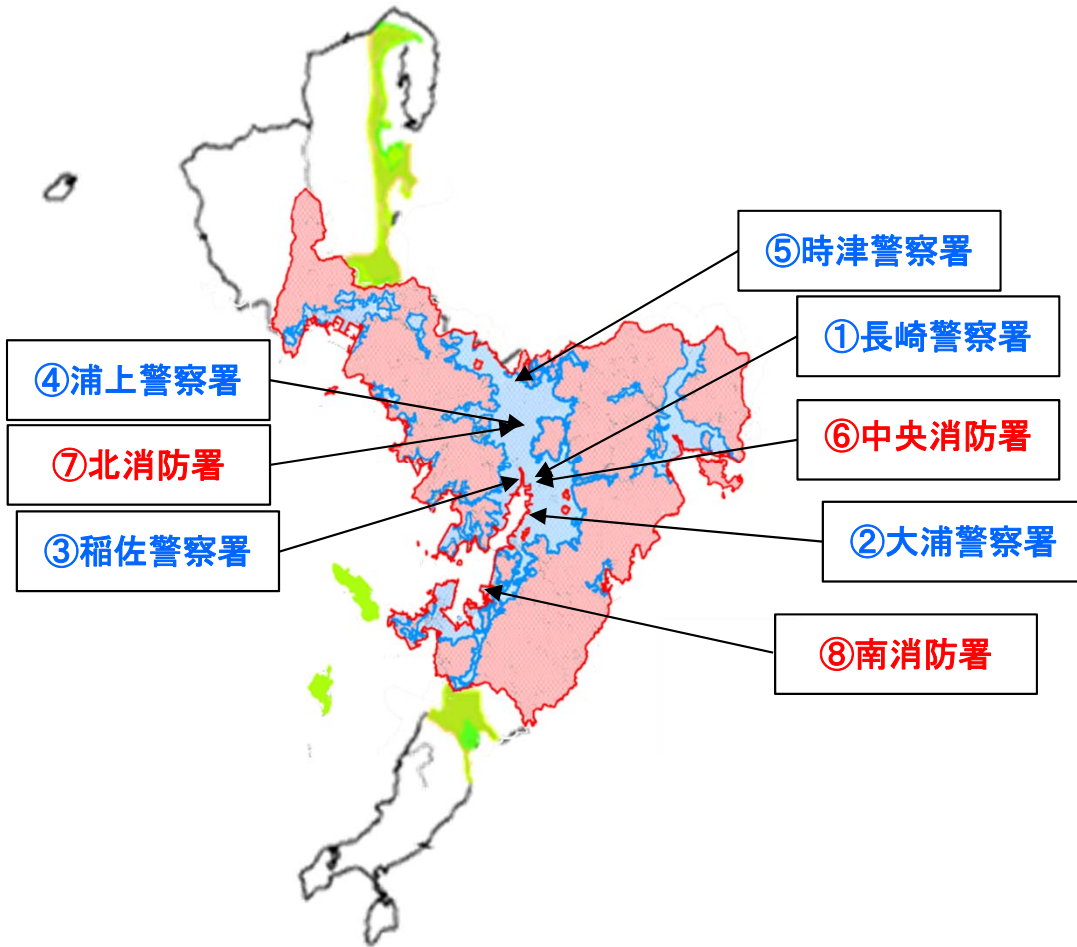
○ソフト面での研究環境

- 感染症研究においては、基礎系研究者(免疫学、分子生物学、再生医療等)、臨床系研究者、さらに広く生物科学系研究者などの間の交流・連携が容易である環境が必要。
本学の感染症研究者は、既に相当の業務を負担しているが、BSL-4施設の設置後は、その実験業務に加え、こうした交流・連携の時間も十分に確保しうる環境を整えることが重要。



BSL-4施設の効果的な運営には、良好な交通アクセスが不可欠。

(4) 長崎市の警察署・消防署



所在地

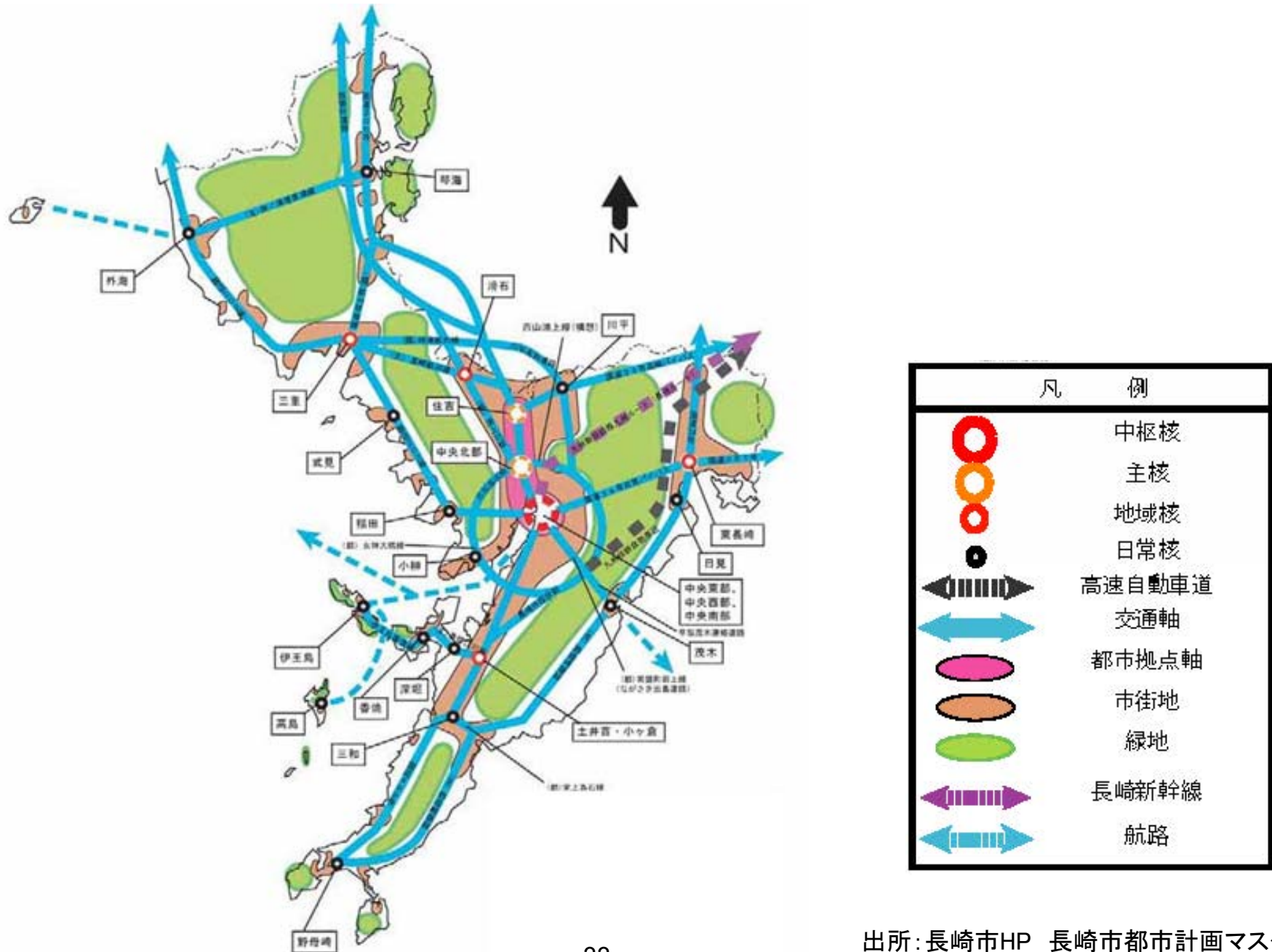
警察署

- ①長崎警察署 長崎市桶屋町65番地
- ②大浦警察署 長崎市松が枝町7-25
- ③稲佐警察署 長崎市弁天町18-4
- ④浦上警察署 長崎市大橋町26-4
- ⑤時津警察署 西彼杵郡時津町浦郷
275-1

消防署

- ⑥中央消防署 長崎市興善町3-1
- ⑦北消防署 長崎市大橋町16-1
- ⑧南消防署 長崎市小ヶ倉町3丁目
76-78

(参考資料3) 長崎市の将来都市構想図



5. 現在の検討結果

「BSL-4施設をどこの地点に設置するのか？」という、言わば「点」の議論は無論重要です。その際には、防災面を含め、その「点」が存在する地区の特性を踏まえることが不可欠であるのは言うまでもありません。

加えて、安全かつ効果的にBSL-4施設を運営するためには、

- ① 熱帯医学研究所、医学部及び大学病院のみならず大学本部
- ② 長崎空港、国、長崎県、長崎市
- ③ 警察署・消防署

との連絡「線」が安定的に維持されていることが不可欠です。さらに、BSL-4施設設置後は、外部の研究者の参集が予想され、その研究や生活を円滑にするための環境整備も欠かせません。

以上から、長崎大学としては、防災面や、交通アクセスを含む都市基盤などのインフラを考慮すれば、BSL-4施設の安全性を確保するという観点から、長崎市内では坂本キャンパス以外に適地を見出し得ないと考えております。

(参考資料4)観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(長崎)

通年

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	448.0 (1982/7/23)	385.4 (1928/6/28)	345.4 (1882/4/11)	344.5 (1945/9/3)	344.0 (1989/7/28)	311.7 (1925/9/17)	280.6 (1922/9/5)	260.9 (1954/9/25)	256.5 (2006/8/31)	245.0 (1981/6/30)	1878/7～ 2016/6
日最大10分間降水量 (mm)	36.00 (1959/7/8)	29.00 (2016/6/20)	28.90 (1954/7/25)	26.00 (1937/7/28)	25.50 (1986/6/29)	25.50 (1982/7/23)	25.00 (1998/8/24)	24.50 (2002/9/16)	22.00 (1972/1/24)	21.80 (1945/9/3)	1937/1～ 2016/6
日最大1時間降水量 (mm)	127.5 (1982/7/23)	102.0 (1981/9/25)	87.8 (1923/9/5)	86.2 (1927/8/27)	86.0 (1985/9/22)	86.0 (1972/6/27)	85.0 (2007/10/9)	82.5 (2016/6/22)	81.5 (2016/6/20)	79.0 (2015/8/12)	1897/4～ 2016/6
月最大24時間降水量 (mm)	552.5 (1982/7/24)	344.0 (1989/7/28)	302.5 (1980/7/2)	276.5 (1987/7/20)	272.5 (1988/6/2)	256.5 (2006/8/31)	249.0 (1985/6/28)	245.0 (1981/6/30)	235.5 (1972/7/12)	234.0 (2011/6/12)	1971/1～ 2016/6
月降水量の多い方から (mm)	1178.5 (1982/7)	985.4 (1885/6)	973.4 (1922/9)	939.4 (1928/6)	882.8 (1915/6)	864.0 (1980/7)	831.3 (1945/9)	798.4 (1889/7)	788.5 (2011/6)	770.0 (1987/7)	1878/7～ 2016/6
年降水量の多い方から (mm)	2842.0 (1993)	2826.0 (1980)	2701.3 (1927)	2700.1 (1915)	2699.0 (1885)	2698.5 (1922)	2697.0 (1882)	2669.9 (1928)	2669.5 (1923)	2636.3 (1954)	1878～ 2016/6

1月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	82.7 (1928/1/27)	71.0 (1972/1/24)	70.6 (1947/1/11)	64.4 (1898/1/1)	54.5 (1950/1/30)	53.4 (1927/1/15)	50.5 (2008/1/11)	49.8 (1947/1/5)	47.6 (1910/1/21)	46.5 (1989/1/19)	1879～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	22.0 (1972/1/24)	13.0 (1988/1/21)	11.2 (1950/1/30)	10.8 (1950/1/28)	10.0 (1947/1/11)	9.8 (1950/1/18)	9.5 (2008/1/11)	8.2 (1937/1/19)	6.5 (1983/1/18)	6.5 (1959/1/26)	1937～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	41.5 (1972/1/24)	38.0 (1928/1/27)	24.9 (1950/1/18)	24.5 (1904/1/13)	23.5 (1898/1/1)	22.5 (2008/1/11)	21.7 (1903/1/26)	19.0 (1988/1/21)	18.3 (1910/1/8)	17.5 (1959/1/26)	1898～ 2016
月最大24時間降水量 (mm)	75.0 (2008/1/11)	73.5 (1972/1/24)	63.5 (1989/1/19)	45.0 (1979/1/29)	42.5 (1980/1/2)	40.0 (2015/1/26)	38.5 (2016/1/29)	37.5 (1982/1/4)	32.0 (1984/1/30)	30.5 (2010/1/28)	1971～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	236.5 (1972/1)	195.8 (1910/1)	189.1 (1928/1)	187.3 (1947/1)	162.5 (1887/1)	150.7 (1950/1)	144.5 (2008/1)	140.0 (1989/1)	135.6 (1898/1)	133.0 (1882/1)	1879～ 2016

(出所: 気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

(参考資料4)観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(長崎)

2月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	100.0 (1979/2/23)	86.0 (1912/2/28)	82.0 (1989/2/16)	80.0 (1990/2/19)	78.0 (1899/2/28)	61.5 (1976/2/28)	58.7 (1930/2/26)	57.4 (1914/2/18)	55.6 (1886/2/6)	52.0 (1973/2/17)	1879～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	20.0 (1979/2/23)	17.0 (1998/2/13)	14.0 (2007/2/14)	12.5 (2004/2/29)	12.0 (1951/2/9)	10.0 (1992/2/29)	9.5 (2016/2/13)	9.0 (1998/2/14)	8.2 (1951/2/22)	8.2 (1940/2/19)	1937～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	58.5 (1979/2/23)	42.0 (1930/2/26)	39.2 (1912/2/28)	28.5 (1998/2/13)	26.9 (1940/2/19)	25.7 (1951/2/9)	25.0 (2004/2/29)	23.5 (2007/2/14)	23.5 (1992/2/29)	23.5 (1926/2/10)	1898～ 2016
月最大24時間降水量 (mm)	115.0 (1979/2/22)	83.0 (1990/2/19)	82.5 (1989/2/16)	73.0 (1992/2/29)	72.5 (1998/2/14)	63.5 (1976/2/28)	53.0 (2004/2/29)	52.0 (1973/2/17)	48.5 (2007/2/8)	48.0 (1993/2/16)	1971～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	208.2 (1922/2)	191.5 (1989/2)	189.9 (1912/2)	185.0 (1976/2)	182.0 (1990/2)	166.5 (1899/2)	156.0 (2009/2)	149.9 (1951/2)	148.5 (2013/2)	148.5 (1979/2)	1879～ 2016

3月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	131.1 (1883/3/19)	92.9 (1911/3/6)	87.5 (1990/3/28)	85.7 (1950/3/7)	80.0 (1992/3/15)	76.0 (2015/3/18)	74.7 (1912/3/27)	69.6 (1881/3/10)	69.5 (2009/3/22)	69.5 (1942/3/29)	1879～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	15.8 (1949/3/13)	15.5 (2013/3/18)	15.5 (2012/3/23)	13.5 (2009/3/22)	13.0 (1992/3/1)	12.5 (1941/3/23)	12.0 (1950/3/7)	11.0 (1971/3/26)	8.9 (1960/3/30)	8.5 (2015/3/18)	1937～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	41.5 (1950/3/7)	37.5 (2009/3/22)	35.0 (1992/3/1)	29.5 (2013/3/18)	29.0 (2012/3/23)	29.0 (1971/3/26)	28.3 (1912/3/27)	28.0 (1910/3/26)	26.1 (1929/3/25)	24.0 (1941/3/23)	1898～ 2016
月最大24時間降水量 (mm)	105.0 (2015/3/18)	89.5 (1990/3/28)	85.5 (2014/3/29)	80.0 (1992/3/15)	78.0 (2009/3/22)	69.5 (1991/3/22)	61.5 (2012/3/23)	52.0 (1982/3/5)	51.5 (1993/3/15)	49.0 (1996/3/15)	1971～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	350.0 (1992/3)	239.3 (1927/3)	233.8 (1897/3)	230.0 (1911/3)	218.8 (1914/3)	208.4 (1884/3)	196.5 (1987/3)	194.2 (1909/3)	193.7 (1946/3)	189.4 (1890/3)	1879～ 2016

4月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	345.4 (1882/4/11)	128.5 (1993/4/28)	118.0 (2006/4/10)	117.1 (1903/4/14)	100.1 (1958/4/22)	99.3 (1946/4/24)	99.1 (1885/4/28)	97.5 (1946/4/5)	95.5 (1930/4/24)	91.5 (1952/4/20)	1879～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	16.5 (1987/4/9)	15.5 (1978/4/6)	15.2 (1958/4/22)	14.2 (1946/4/24)	12.0 (2002/4/23)	11.8 (1959/4/4)	11.7 (1942/4/5)	11.5 (1988/4/12)	11.5 (1973/4/24)	10.5 (1998/4/24)	1937～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	60.0 (1946/4/24)	42.7 (1952/4/20)	39.5 (1959/4/4)	31.6 (1915/4/17)	31.5 (1987/4/9)	29.7 (1946/4/5)	28.0 (2002/4/23)	27.9 (1942/4/5)	27.6 (1946/4/20)	27.0 (1984/4/19)	1898～ 2016
月最大24時間降水量 (mm)	161.0 (1993/4/28)	144.5 (2006/4/10)	94.5 (1973/4/15)	94.0 (2005/4/30)	91.0 (2015/4/29)	72.0 (1995/4/30)	71.5 (2003/4/24)	71.0 (1987/4/9)	70.5 (1974/4/7)	69.5 (1998/4/13)	1971～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	511.0 (1882/4)	427.9 (1885/4)	401.9 (1958/4)	367.7 (1946/4)	348.0 (1973/4)	346.5 (1915/4)	332.4 (1967/4)	313.1 (1890/4)	305.4 (1936/4)	299.2 (1921/4)	1879～ 2016

(出所: 気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

(参考資料4)観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(長崎)

5月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	196.0 (1973/5/8)	171.8 (1944/5/9)	149.3 (1884/5/2)	135.0 (1903/5/18)	127.8 (1952/5/3)	124.5 (2010/5/23)	124.5 (1980/5/20)	121.8 (1965/5/26)	112.0 (1929/5/7)	110.0 (1885/5/26)	1879～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	20.0 (1944/5/9)	18.0 (1973/5/8)	13.4 (1963/5/30)	13.3 (1938/5/30)	12.7 (1954/5/24)	12.5 (2002/5/3)	11.9 (1951/5/30)	11.5 (2005/5/1)	11.5 (1992/5/8)	11.5 (1980/5/20)	1937～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	67.0 (1973/5/8)	47.5 (1944/5/9)	47.3 (1954/5/24)	44.5 (1951/5/30)	43.5 (1980/5/20)	40.0 (1938/5/30)	39.5 (1983/5/16)	37.5 (1957/5/11)	36.9 (1906/5/20)	36.0 (2005/5/1)	1898～ 2016
月最大24時間降水量 (mm)	208.0 (1973/5/8)	141.0 (2010/5/23)	138.5 (1980/5/20)	112.0 (1991/5/19)	105.0 (2004/5/13)	104.5 (1971/5/19)	94.5 (2013/5/28)	94.5 (2006/5/6)	94.5 (1983/5/16)	94.0 (2005/5/1)	1971～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	401.0 (1885/5)	389.5 (2006/5)	378.4 (1953/5)	355.1 (1881/5)	350.8 (1938/5)	346.5 (1973/5)	345.4 (1963/5)	332.2 (1879/5)	330.7 (1954/5)	321.0 (2004/5)	1879～ 2016

6月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	385.4 (1928/6/28)	245.0 (1981/6/30)	236.5 (1985/6/28)	221.2 (1882/6/16)	218.0 (2011/6/12)	211.1 (1954/6/29)	202.0 (2012/6/24)	197.0 (1988/6/2)	191.0 (2012/6/16)	181.6 (1965/6/19)	1879～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	29.0 (2016/6/20)	25.5 (1986/6/29)	20.5 (2016/6/22)	20.0 (1972/6/27)	20.0 (1938/6/24)	20.0 (1937/6/27)	19.0 (1986/6/22)	19.0 (1968/6/30)	18.0 (1968/6/29)	17.0 (2011/6/20)	1937～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	86.0 (1972/6/27)	82.5 (2016/6/22)	81.5 (2016/6/20)	73.3 (1928/6/28)	65.2 (1938/6/24)	59.5 (1986/6/22)	59.0 (1981/6/30)	55.5 (2011/6/12)	52.5 (2011/6/20)	51.5 (1977/6/15)	1898～ 2016
月最大24時間降水量 (mm)	272.5 (1988/6/2)	249.0 (1985/6/28)	245.0 (1981/6/30)	234.0 (2011/6/12)	221.5 (2012/6/24)	169.0 (1972/6/26)	153.5 (1979/6/29)	152.5 (1997/6/28)	152.0 (1978/6/11)	133.0 (1995/6/30)	1971～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	985.4 (1885/6)	939.4 (1928/6)	882.8 (1915/6)	788.5 (2011/6)	749.1 (1954/6)	680.0 (1953/6)	659.2 (1921/6)	637.0 (2012/6)	618.5 (1998/6)	599.3 (1914/6)	1879～ 2016

7月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	448.0 (1982/7/23)	344.0 (1989/7/28)	243.0 (1982/7/20)	233.5 (1980/7/2)	210.5 (1976/7/19)	200.6 (1953/7/18)	198.0 (1985/7/9)	194.4 (1965/7/2)	187.5 (1987/7/19)	186.5 (1997/7/9)	1879～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	36.0 (1959/7/8)	28.9 (1954/7/25)	26.0 (1937/7/28)	25.5 (1982/7/23)	21.2 (1963/7/1)	20.0 (2014/7/3)	20.0 (1985/7/9)	20.0 (1937/7/14)	19.0 (2014/7/6)	19.0 (1980/7/1)	1937～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	127.5 (1982/7/23)	78.0 (1959/7/8)	71.8 (1953/7/16)	71.7 (1953/7/17)	70.5 (1985/7/9)	66.7 (1965/7/2)	66.0 (1954/7/25)	65.3 (1963/7/1)	63.5 (2009/7/11)	62.0 (2014/7/6)	1898～ 2016
月最大24時間降水量 (mm)	552.5 (1982/7/24)	344.0 (1989/7/28)	302.5 (1980/7/2)	276.5 (1987/7/20)	235.5 (1972/7/12)	221.5 (1976/7/19)	198.0 (1997/7/9)	198.0 (1985/7/9)	198.0 (1971/7/24)	169.0 (1991/7/29)	1971～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	1178.5 (1982/7)	864.0 (1980/7)	798.4 (1889/7)	770.0 (1987/7)	745.4 (1900/7)	734.8 (1957/7)	631.0 (1997/7)	587.4 (1922/7)	578.1 (1936/7)	577.5 (1923/7)	1879～ 2016

(出所:気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

(参考資料4)観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(長崎)

8月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	256.5 (2006/8/31)	204.5 (1927/8/27)	189.2 (1878/8/1)	181.3 (1956/8/17)	176.5 (1993/8/19)	170.1 (1948/8/26)	167.6 (1883/8/18)	166.6 (1880/8/5)	162.5 (2006/8/18)	157.0 (1981/8/27)	1879～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	25.0 (1998/8/24)	21.0 (1963/8/15)	20.5 (2015/8/12)	20.4 (1938/8/30)	20.0 (1957/8/3)	19.5 (2011/8/23)	19.0 (2000/8/18)	18.0 (2000/8/17)	18.0 (1993/8/19)	18.0 (1979/8/6)	1937～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	86.2 (1927/8/27)	79.0 (2015/8/12)	65.5 (1993/8/19)	63.8 (1956/8/16)	61.5 (2006/8/31)	57.8 (1899/8/18)	57.5 (1949/8/13)	55.0 (1981/8/27)	53.4 (1949/8/17)	53.0 (1902/8/16)	1898～ 2016
月最大24時間降水量 (mm)	256.5 (2006/8/31)	176.5 (1993/8/19)	164.5 (1979/8/6)	160.0 (1981/8/27)	149.0 (1984/8/21)	147.5 (2011/8/23)	147.0 (2015/8/12)	140.5 (1999/8/31)	138.0 (1985/8/31)	133.5 (1971/8/11)	1971～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	720.9 (1927/8)	667.5 (1993/8)	510.1 (1949/8)	483.8 (1905/8)	483.0 (2014/8)	476.8 (1893/8)	473.0 (1880/8)	447.0 (2006/8)	446.9 (1956/8)	436.7 (1963/8)	1879～ 2016

9月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	344.5 (1945/9/3)	311.7 (1925/9/17)	280.6 (1922/9/5)	260.9 (1954/9/25)	237.3 (1910/9/6)	236.8 (1943/9/19)	230.5 (1922/9/9)	207.3 (1897/9/5)	186.4 (1932/9/4)	186.0 (1985/9/22)	1879～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	24.5 (2002/9/16)	21.8 (1945/9/3)	20.5 (1985/9/22)	19.5 (1992/9/29)	19.5 (1981/9/25)	19.5 (1946/9/17)	18.5 (1951/9/8)	17.5 (1944/9/6)	17.0 (1990/9/6)	15.5 (2010/9/12)	1937～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	102.0 (1981/9/25)	87.8 (1923/9/5)	86.0 (1985/9/22)	70.0 (1976/9/13)	69.1 (1903/9/12)	68.9 (1897/9/5)	65.7 (1945/9/3)	64.2 (1922/9/5)	62.0 (1976/9/12)	59.5 (2003/9/10)	1898～ 2016
月最大24時間降水量 (mm)	186.0 (1985/9/22)	180.0 (1997/9/7)	178.5 (2006/9/1)	176.0 (1981/9/25)	169.5 (1999/9/1)	161.5 (1976/9/12)	139.0 (1995/9/23)	139.0 (1975/9/5)	131.0 (1972/9/8)	129.5 (1989/9/1)	1971～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	973.4 (1922/9)	831.3 (1945/9)	573.0 (1897/9)	521.0 (1925/9)	503.2 (1927/9)	490.3 (1926/9)	490.0 (1999/9)	479.0 (1909/9)	457.6 (1911/9)	450.5 (1973/9)	1879～ 2016

10月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	181.0 (1981/10/8)	156.5 (2007/10/9)	139.0 (1938/10/3)	135.0 (2009/10/2)	130.8 (1918/10/5)	130.3 (1887/10/6)	127.5 (1901/10/7)	103.1 (1916/10/12)	91.1 (1887/10/22)	89.0 (1998/10/17)	1879～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	21.5 (2007/10/9)	19.4 (1939/10/15)	19.0 (1978/10/27)	17.5 (1985/10/11)	16.0 (1981/10/8)	15.0 (1975/10/7)	14.5 (1975/10/12)	13.8 (1958/10/14)	13.0 (2010/10/3)	13.0 (1968/10/4)	1937～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	85.0 (2007/10/9)	47.1 (1945/10/18)	45.0 (1981/10/8)	44.0 (2013/10/11)	38.0 (1949/10/4)	36.5 (1917/10/17)	35.0 (1915/10/25)	34.5 (1985/10/11)	33.9 (1945/10/2)	32.6 (1939/10/15)	1898～ 2016
月最大24時間降水量 (mm)	182.5 (1981/10/8)	158.0 (2007/10/9)	135.0 (2009/10/2)	103.0 (2004/10/19)	96.0 (2001/10/16)	90.5 (1998/10/17)	89.5 (2013/10/11)	85.5 (1979/10/18)	85.0 (2000/10/31)	78.5 (1980/10/13)	1971～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	334.1 (1945/10)	328.7 (1887/10)	266.0 (1981/10)	252.2 (1893/10)	249.5 (2013/10)	246.8 (1938/10)	246.0 (1980/10)	228.0 (1975/10)	227.1 (1918/10)	225.2 (1914/10)	1879～ 2016

(出所: 気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

(参考資料4)観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(長崎)

11月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	115.0 (2011/11/18)	104.5 (1982/11/29)	87.7 (1915/11/25)	84.0 (2000/11/1)	80.0 (1889/11/26)	76.6 (1947/11/29)	75.0 (1928/11/13)	73.8 (1936/11/26)	69.0 (1981/11/2)	65.9 (1896/11/26)	1879～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	19.0 (2013/11/10)	16.5 (2013/11/25)	14.0 (1964/11/1)	13.0 (2002/11/7)	13.0 (1984/11/11)	12.8 (1965/11/8)	12.0 (2012/11/17)	12.0 (2002/11/11)	12.0 (1975/11/7)	12.0 (1959/11/24)	1937～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	42.5 (2000/11/1)	42.5 (1982/11/29)	41.9 (1964/11/1)	38.6 (1928/11/13)	38.2 (1900/11/28)	37.3 (1914/11/4)	37.0 (2011/11/18)	35.5 (2011/11/6)	32.6 (1914/11/14)	32.0 (2013/11/10)	1898～ 2016
月最大24時間降水量 (mm)	144.5 (2011/11/18)	108.0 (2000/11/1)	104.5 (1982/11/29)	103.5 (1997/11/25)	72.5 (1999/11/1)	71.5 (1981/11/2)	63.5 (1989/11/6)	62.5 (2012/11/4)	60.5 (2003/11/5)	56.5 (1993/11/30)	1971～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	241.0 (1928/11)	215.9 (1888/11)	214.0 (2011/11)	210.5 (2013/11)	194.0 (2000/11)	190.0 (1997/11)	181.5 (1982/11)	171.0 (1936/11)	168.1 (1965/11)	168.0 (2012/11)	1879～ 2016

12月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	111.2 (1890/12/28)	85.5 (2004/12/4)	74.9 (1926/12/7)	69.0 (2008/12/21)	66.5 (1931/12/9)	63.0 (1993/12/10)	61.2 (1899/12/17)	56.0 (1975/12/4)	55.6 (1896/12/20)	53.9 (1937/12/24)	1879～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	17.3 (1949/12/24)	14.5 (2010/12/2)	13.5 (2008/12/21)	12.0 (1957/12/12)	11.0 (2001/12/4)	10.8 (1959/12/31)	9.8 (1940/12/23)	9.5 (1975/12/4)	9.4 (1965/12/4)	9.0 (1986/12/18)	1937～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	48.0 (2010/12/2)	42.5 (1926/12/7)	35.5 (1993/12/10)	34.0 (2008/12/21)	30.0 (1969/12/26)	22.5 (1909/12/29)	22.0 (1986/12/18)	21.9 (1949/12/24)	21.5 (1976/12/22)	21.0 (1905/12/25)	1898～ 2016
月最大24時間降水量 (mm)	85.5 (2004/12/4)	69.0 (2008/12/21)	63.0 (1993/12/10)	57.0 (1975/12/4)	54.0 (2010/12/2)	51.5 (1997/12/7)	41.5 (1994/12/9)	38.5 (2015/12/10)	38.0 (2014/12/20)	38.0 (2013/12/9)	1971～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	219.4 (1890/12)	182.2 (1931/12)	176.2 (1948/12)	158.6 (1895/12)	157.3 (1947/12)	152.0 (1968/12)	148.0 (1920/12)	147.2 (1905/12)	146.0 (2010/12)	141.8 (1926/12)	1879～ 2016

(出所: 気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

(参考資料4) 観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(野母崎)

通年

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	256.0 (2012/6/24)	234.0 (2002/8/24)	219.0 (1993/8/1)	208.0 (2012/6/16)	190.0 (1995/9/23)	167.0 (1997/7/9)	144.0 (2000/9/29)	142.0 (2014/7/6)	141.5 (2011/11/18)	135.0 (1993/7/4)	1991～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	28.0 (2011/11/18)	22.0] (2016/6/22)	21.0 (2016/6/20)	21.0 (2013/9/1)	20.5 (2014/7/6)	18.0 (2009/10/2)	18.0 (2009/7/24)	17.5 (2010/8/29)	16.0 (2012/6/16)	13.5 (2010/12/2)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	80.0 (1996/7/3)	75.5 (2011/11/18)	72.0 (1997/11/26)	69.5 (2009/10/2)	66.5 (2016/6/20)	63.0 (2013/9/1)	62.0 (2014/7/6)	61.5 (2012/6/24)	60.0 (2012/6/16)	60.0 (2009/7/24)	1991～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	686.5 (2012/6)	650.0 (1993/8)	572.0 (2011/6)	527.0 (1993/7)	505.0 (2015/6)	489.5 (2008/6)	484.0 (1998/6)	475.0 (1993/6)	439.0 (1997/7)	362.0 (1997/6)	1991～ 2016
年降水量の多い方から (mm)	2557.0 (1993)	2098.0 (2015)	1912.5 (2008)	1844.0 (2006)	1805.0 (1998)	1803.0 (1997)	1747.0 (2012)	1740.0 (1992)	1653.0 (2014)	1600.0 (2011)	1991～ 2016

1月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	69.0 (2008/1/11)	39.0 (2008/1/12)	34.5 (2016/1/29)	32.5 (2015/1/26)	31.0 (2008/1/20)	28.0 (1995/1/3)	26.0 (2000/1/9)	24.5 (2013/1/13)	24.0 (1998/1/15)	24.0 (1998/1/11)	1992～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	6.5 (2014/1/30)	6.5 (2010/1/28)	4.5 (2015/1/15)	3.5 (2010/1/20)	3.0 (2015/1/26)	3.0 (2015/1/22)	2.0 (2014/1/8)	2.0 (2013/1/1)	1.5 (2016/1/29)	1.5 (2016/1/17)	2010～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	33.0 (2008/1/11)	26.0 (2008/1/12)	17.0 (1996/1/7)	15.5 (2014/1/30)	13.0 (1995/1/3)	11.0 (2015/1/15)	10.0 (2010/1/28)	9.0 (2003/1/22)	8.0 (2015/1/26)	8.0 (2014/1/8)	1992～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	171.0 (2008/1)	134.0 (1998/1)	98.0 (2000/1)	97.0 (2015/1)	92.0 (2016/1)	69.0 (1997/1)	68.0 (2001/1)	67.0 (2003/1)	65.0 (1992/1)	61.0 (2002/1)	1992～ 2016

2月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	45.0 (1993/2/16)	37.0 (2013/2/1)	34.0 (2007/2/8)	33.5 (2014/2/1)	33.0 (2008/2/26)	31.5 (2014/2/26)	30.0 (2009/2/22)	30.0 (2004/2/29)	30.0 (1998/2/23)	29.0 (1994/2/20)	1992～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	10.5 (2013/2/1)	10.5 (2010/2/9)	10.0 (2014/2/1)	6.0 (2012/2/23)	4.5 (2013/2/4)	4.0 (2014/2/2)	4.0 (2012/2/6)	4.0 (2011/2/8)	3.0 (2010/2/26)	2.5 (2016/2/13)	2010～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	21.0 (2007/2/8)	19.0 (2014/2/1)	18.0 (2010/2/9)	17.5 (2013/2/1)	17.0 (1993/2/16)	15.0 (2008/2/26)	15.0 (2004/2/29)	14.0 (1999/2/18)	13.5 (2012/2/6)	10.0 (2013/2/4)	1992～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	137.5 (2013/2)	125.5 (2009/2)	124.5 (2014/2)	110.0 (2006/2)	103.0 (1998/2)	102.0 (2010/2)	94.0 (2005/2)	92.0 (1994/2)	82.0 (1993/2)	80.0 (2001/2)	1992～ 2016

(出所: 気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

(参考資料4) 観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(野母崎)

3月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	93.0 (1992/3/15)	75.5 (2015/3/18)	71.0 (1996/3/15)	56.5 (2014/3/29)	49.0 (2009/3/13)	47.0 (1993/3/15)	41.0 (2016/3/9)	38.0 (1999/3/26)	37.0 (1992/3/1)	34.0 (2004/3/30)	1991～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	8.0 (2015/3/18)	7.5 (2013/3/18)	6.0 (2014/3/13)	5.5 (2012/3/23)	5.5 (2009/3/22)	5.5 (2009/3/13)	4.5 (2014/3/29)	4.5 (2010/3/1)	4.0 (2015/3/19)	4.0 (2012/3/18)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	36.0 (1992/3/15)	27.0 (1996/3/15)	26.0 (2015/3/18)	21.0 (1999/3/26)	17.5 (2009/3/13)	15.0 (2007/3/5)	15.0 (1993/3/6)	14.0 (2014/3/13)	14.0 (1992/3/1)	13.0 (2013/3/18)	1991～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	338.0 (1992/3)	162.0 (2015/3)	140.5 (2012/3)	134.0 (2010/3)	129.0 (2014/3)	129.0 (1993/3)	117.0 (2004/3)	114.0 (1999/3)	106.0 (2005/3)	102.5 (2009/3)	1991～ 2016

4月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	84.0 (1993/4/28)	69.0 (2003/4/24)	64.0 (2006/4/10)	57.0 (1994/4/20)	56.0 (1998/4/13)	52.5 (2012/4/11)	51.0 (2003/4/1)	50.5 (2009/4/25)	50.0 (2008/4/23)	49.0 (2008/4/9)	1991～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	11.0 (2012/4/11)	9.5 (2010/4/28)	9.0 (2009/4/25)	6.5 (2013/4/2)	4.5 (2015/4/30)	4.5 (2015/4/29)	4.0 (2016/4/4)	4.0 (2010/4/27)	4.0 (2010/4/1)	3.5 (2014/4/17)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	34.0 (2012/4/11)	29.0 (2003/4/24)	28.0 (2009/4/25)	19.0 (2010/4/27)	18.0 (1998/4/13)	17.0 (2010/4/28)	17.0 (1994/4/20)	17.0 (1992/4/22)	16.0 (2015/4/30)	16.0 (2005/4/30)	1991～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	234.0 (1994/4)	206.0 (2003/4)	202.0 (2010/4)	189.0 (2006/4)	186.0 (1998/4)	174.0 (1995/4)	157.5 (2016/4)	151.0 (2002/4)	144.0 (2015/4)	132.5 (2008/4)	1991～ 2016

5月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	81.0 (2006/5/18)	75.0 (2010/5/23)	70.0 (1991/5/15)	62.0 (2004/5/13)	57.5 (2013/5/28)	55.5 (2016/5/3)	55.0 (2006/5/6)	55.0 (2004/5/16)	55.0 (1991/5/20)	55.0 (1991/5/19)	1991～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	10.5 (2015/5/12)	8.0 (2016/5/16)	7.0 (2013/5/28)	6.5 (2011/5/26)	6.0 (2016/5/3)	6.0 (2010/5/19)	5.0 (2010/5/23)	4.5 (2016/5/24)	4.5 (2016/5/9)	4.0 (2015/5/18)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	24.0 (2007/5/1)	24.0 (2004/5/13)	22.0 (2006/5/6)	21.5 (2016/5/16)	21.0 (1992/5/8)	20.5 (2013/5/28)	18.0 (1995/5/10)	18.0 (1991/5/15)	17.5 (2015/5/12)	17.5 (2011/5/26)	1991～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	329.0 (2006/5)	251.0 (2004/5)	239.0 (1991/5)	238.0 (2016/5)	171.5 (2008/5)	170.5 (2011/5)	159.5 (2010/5)	158.0 (2007/5)	149.5 (2015/5)	140.0 (2002/5)	1991～ 2016

(出所: 気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

(参考資料4) 観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(野母崎)

6月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	256.0 (2012/6/24)	208.0 (2012/6/16)	128.0 (1997/6/22)	124.5 (2010/6/29)	118.0 (1993/6/19)	115.0 (2015/6/11)	99.5 (2016/6/20)	99.5 (2008/6/28)	97.0 (2011/6/12)	96.5 (2008/6/11)	1991～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	22.0] (2016/6/22)	21.0 (2016/6/20)	16.0 (2012/6/16)	13.0 (2012/6/24)	12.0 (2016/6/19)	10.5 (2011/6/12)	10.0 (2011/6/11)	10.0 (2010/6/29)	9.0 (2015/6/2)	9.0 (2011/6/16)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	66.5 (2016/6/20)	61.5 (2012/6/24)	60.0 (2012/6/16)	43.5] (2016/6/22)	40.0 (1991/6/10)	32.0 (2006/6/23)	31.0 (2015/6/2)	29.0 (1997/6/22)	28.5 (2008/6/28)	28.0 (1993/6/19)	1991～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	686.5 (2012/6)	572.0 (2011/6)	505.0 (2015/6)	489.5 (2008/6)	484.0 (1998/6)	475.0 (1993/6)	362.0 (1997/6)	356.0 (1996/6)	326.5 (2010/6)	299.0 (1995/6)	1991～ 2016

7月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	167.0 (1997/7/9)	142.0 (2014/7/6)	135.0 (1993/7/4)	116.0 (1997/7/10)	111.0 (1998/7/25)	109.0 (1998/7/15)	102.0 (2006/7/21)	99.0 (1996/7/3)	98.0 (1995/7/4)	97.0 (2006/7/22)	1991～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	20.5 (2014/7/6)	18.0 (2009/7/24)	12.0 (2012/7/12)	11.5 (2012/7/21)	10.5 (2014/7/3)	10.5 (2009/7/1)	9.0 (2015/7/21)	9.0 (2011/7/6)	8.5 (2014/7/2)	8.5] (2012/7/2)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	80.0 (1996/7/3)	62.0 (2014/7/6)	60.0 (2009/7/24)	49.0 (2005/7/6)	46.0 (2005/7/5)	39.0 (2007/7/6)	39.0 (2005/7/9)	39.0 (1993/7/4)	38.0 (1997/7/9)	36.0 (2006/7/21)	1991～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	527.0 (1993/7)	439.0 (1997/7)	345.0 (2006/7)	337.0 (2009/7)	303.0 (2007/7)	300.0 (1995/7)	297.5 (2014/7)	269.0 (1998/7)	257.0 (2005/7)	243.0 (1992/7)	1991～ 2016

8月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	234.0 (2002/8/24)	219.0 (1993/8/1)	126.0 (1993/8/19)	106.0 (1996/8/31)	74.5 (2015/8/31)	74.0 (2011/8/15)	68.0 (1997/8/12)	66.0 (1992/8/13)	64.0 (1993/8/15)	62.0 (2015/8/19)	1991～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	17.5 (2010/8/29)	13.5 (2009/8/17)	13.0 (2015/8/16)	13.0 (2011/8/15)	12.5 (2009/8/14)	12.0 (2011/8/23)	11.0 (2014/8/4)	11.0 (2011/8/24)	10.5 (2015/8/20)	10.0 (2015/8/31)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	59.0 (2002/8/24)	49.0 (1993/8/15)	44.0 (2004/8/17)	35.0 (2009/8/17)	34.5 (2011/8/15)	34.0 (1993/8/1)	33.0 (2011/8/23)	30.0 (2015/8/31)	30.0 (1996/8/31)	29.0 (2015/8/20)	1991～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	650.0 (1993/8)	315.0 (2002/8)	308.5 (2015/8)	266.0 (2014/8)	226.0 (2003/8)	218.0 (1992/8)	204.0 (2011/8)	198.0 (1996/8)	188.0 (2000/8)	159.0 (1999/8)	1991～ 2016

(出所: 気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

(参考資料4)観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(野母崎)

9月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	190.0 (1995/9/23)	144.0 (2000/9/29)	123.0 (1997/9/7)	121.0 (2008/9/15)	104.0 (2013/9/1)	103.5 (2008/9/30)	83.0 (1992/9/29)	79.0 (2001/9/30)	72.0 (1999/9/1)	65.0 (2001/9/14)	1991～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	21.0 (2013/9/1)	12.0 (2009/9/12)	10.5 (2014/9/3)	8.5 (2014/9/4)	8.5] (2012/9/5)	8.0 (2012/9/4)	8.0 (2011/9/18)	7.5 (2015/9/24)	6.5 (2010/9/20)	6.5 (2010/9/3)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	63.0 (2013/9/1)	46.0 (2003/9/10)	43.0 (2001/9/14)	40.0 (1992/9/29)	37.0 (2003/9/9)	37.0 (2000/9/29)	32.0 (2005/9/9)	28.0 (1999/9/22)	28.0 (1995/9/23)	26.0 (2012/9/5)	1991～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	354.5 (2008/9)	336.0 (2000/9)	311.0 (1999/9)	291.0 (1995/9)	265.0 (2001/9)	217.0 (1997/9)	215.5 (2013/9)	176.0 (2015/9)	172.0 (2004/9)	154.0 (1993/9)	1991～ 2016

10月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	126.5 (2009/10/2)	114.0 (1998/10/17)	103.0 (2007/10/9)	78.5 (2013/10/24)	68.0 (2010/10/24)	61.0 (2014/10/13)	55.0 (1995/10/4)	53.0 (2001/10/16)	52.0 (2004/10/19)	42.5 (2013/10/11)	1991～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	18.0 (2009/10/2)	9.5 (2010/10/24)	9.0 (2010/10/3)	8.0 (2012/10/22)	6.5 (2013/10/11)	5.5 (2013/10/10)	5.5 (2012/10/28)	5.0 (2013/10/24)	4.0 (2014/10/2)	4.0 (2012/10/17)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	69.5 (2009/10/2)	47.0 (1995/10/4)	33.0 (2007/10/9)	31.0 (2010/10/24)	21.0 (1998/10/17)	19.0 (2002/10/6)	17.0 (2012/10/17)	16.5 (2013/10/11)	16.0 (2012/10/28)	16.0 (2010/10/3)	1991～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	215.0 (1998/10)	195.5 (2013/10)	176.0 (2001/10)	139.5 (2009/10)	131.0 (2000/10)	126.0 (2004/10)	124.0 (2007/10)	107.5 (2014/10)	103.0 (2002/10)	99.0 (2010/10)	1991～ 2016

11月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	141.5 (2011/11/18)	90.0 (1993/11/30)	87.0 (1992/11/4)	79.0 (1997/11/26)	66.0 (2000/11/1)	56.0 (2003/11/5)	56.0 (2000/11/2)	49.0 (2000/11/20)	43.0 (2012/11/5)	43.0 (2003/11/2)	1991～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	28.0 (2011/11/18)	12.0 (2009/11/1)	11.0 (2012/11/5)	10.5 (2015/11/17)	8.5 (2012/11/17)	8.5 (2011/11/23)	8.0 (2011/11/6)	7.5 (2011/11/5)	6.5 (2009/11/10)	6.0 (2013/11/7)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	75.5 (2011/11/18)	72.0 (1997/11/26)	41.0 (1992/11/4)	38.0 (1993/11/30)	34.5 (2012/11/5)	31.0 (1998/11/16)	30.0 (2000/11/2)	22.0 (2009/11/1)	22.0 (2000/11/1)	19.0 (1999/11/11)	1991～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	237.0 (1997/11)	208.5 (2011/11)	202.0 (2000/11)	182.0 (2003/11)	165.0 (1993/11)	158.0 (1992/11)	145.5 (2012/11)	134.0 (1999/11)	123.0 (2009/11)	116.0 (2015/11)	1991～ 2016

(出所:気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

(参考資料4) 観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(野母崎)

12月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	85.5 (2008/12/21)	74.0 (2004/12/4)	44.5 (2015/12/2)	41.0 (2009/12/10)	37.5 (2015/12/10)	36.0 (2013/12/9)	36.0 (1992/12/20)	35.0 (1997/12/29)	35.0 (1997/12/7)	30.5 (2012/12/28)	1991～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	13.5 (2010/12/2)	4.0 (2013/12/9)	4.0 (2012/12/14)	3.5 (2012/12/21)	3.0 (2015/12/2)	3.0 (2009/12/11)	2.5 (2015/12/15)	2.5 (2015/12/10)	2.5 (2014/12/8)	2.5 (2012/12/30)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	53.5 (2008/12/21)	20.0 (2010/12/2)	15.0 (1997/12/7)	14.0 (1992/12/20)	13.0 (2002/12/3)	13.0 (1996/12/10)	12.5 (2015/12/2)	12.0 (2004/12/4)	11.0 (2007/12/3)	11.0 (1994/12/9)	1991～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	122.5 (2008/12)	115.5 (2015/12)	102.0 (2012/12)	102.0 (1997/12)	101.0 (2004/12)	100.0 (2002/12)	94.5 (2014/12)	92.5 (2010/12)	92.0 (2007/12)	83.0 (1992/12)	1991～ 2016

(出所: 気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

(参考資料4)観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(長浦岳)

通年

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	427.0 (1982/7/23)	294.5 (2014/7/3)	267.0 (2006/4/10)	255.0 (1991/6/30)	226.0 (1985/6/28)	222.0 (1982/7/11)	219.0 (1978/6/11)	217.5 (2015/8/12)	208.0 (1983/6/20)	203.0 (1995/9/23)	1976～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	27.0 (2012/10/28)	23.5 (2013/3/18)	22.5 (2011/8/26)	21.0 (2010/10/3)	19.5 (2015/8/12)	19.5 (2014/7/3)	19.0 (2016/6/22)	19.0 (2014/8/5)	19.0 (2009/7/24)	18.5 (2016/6/19)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	153.0 (1982/7/23)	96.5 (2012/10/28)	96.5 (2011/8/26)	96.0 (2014/7/3)	94.0 (2006/6/26)	93.0 (1999/10/31)	88.0 (1991/6/30)	73.0 (2003/8/26)	71.0 (1985/10/11)	70.0 (2015/8/12)	1976～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	1230.0 (1982/7)	825.0 (1987/7)	822.0 (1980/7)	818.0 (1997/7)	778.0 (1979/6)	704.0 (2014/8)	695.0 (2011/6)	678.0 (1998/6)	672.0 (1993/6)	650.0 (1999/6)	1976～ 2016
年降水量の多い方から (mm)	3000.0 (2014)	2945.5 (2015)	2878] (1999)	2793.0 (2011)	2751.0 (2012)	2682.0 (1993)	2663.0 (1986)	2663.0 (1982)	2622.0 (1985)	2595.0 (1997)	1976～ 2015

1月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	62.0 (1983/1/5)	59.5 (2016/1/29)	55.0 (1994/1/17)	53.0 (1989/1/19)	53.0 (1982/1/4)	47.0 (1987/1/23)	29.0 (1988/1/21)	28.0 (1995/1/3)	26.5 (2016/1/24)	25.0 (1981/1/24)	1981～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	5.0 (2014/1/8)	4.5 (2014/1/30)	4.5 (2013/1/21)	3.5 (2015/1/15)	3.0 (2016/1/29)	3.0 (2014/1/25)	2.5 (2015/1/26)	2.0 (2015/1/22)	2.0 (2015/1/6)	1.5 (2016/1/24)	2011～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	24.0 (1983/1/5)	16.0 (1994/1/17)	14.0 (1988/1/21)	14.0 (1982/1/22)	12.5 (2013/1/21)	12.0 (1987/1/23)	12.0 (1982/1/4)	11.5 (2015/1/15)	11.0 (1989/1/19)	10.5 (2014/1/30)	1981～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	178.0 (1989/1)	158.0 (2016/1)	119.5 (2015/1)	97.0 (1987/1)	92.0 (1982/1)	79.0 (1983/1)	65.0 (2013/1)	63.0 (1981/1)	60.0 (1994/1)	59.0 (1988/1)	1981～ 2016

2月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	173.0 (1989/2/16)	81.0 (1990/2/19)	67.5 (2013/2/1)	67.0 (2013/2/18)	55.0 (2016/2/13)	55.0 (1991/2/10)	44.0 (1981/2/13)	42.0 (1987/2/17)	38.0 (1989/2/24)	38.0 (1982/2/4)	1981～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	12.5 (2011/2/8)	8.0 (2016/2/13)	5.5 (2013/2/1)	5.5 (2012/2/23)	4.0 (2013/2/18)	4.0 (2013/2/4)	3.0 (2014/2/1)	2.5 (2013/2/26)	2.5 (2012/2/13)	2.0 (2012/2/22)	2011～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	29.0 (1989/2/16)	22.5 (2013/2/1)	21.0 (1991/2/10)	20.0 (1983/2/2)	19.0 (2012/2/23)	18.0 (1990/2/19)	18.0 (1981/2/16)	15.5 (2013/2/18)	15.0 (1986/2/18)	14.5 (2011/2/8)	1981～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	299.0 (1989/2)	230.0 (2013/2)	156.5 (2012/2)	128.0 (2014/2)	126.0 (1982/2)	126.0 (1981/2)	125.0 (1990/2)	114.5 (2016/2)	113.0 (1991/2)	109.0 (1983/2)	1981～ 2016

(出所:気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

(参考資料4)観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(長浦岳)

3月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	111.0 (1990/3/28)	101.5 (2015/3/18)	75.5 (2014/3/29)	75.0 (2012/3/23)	73.0 (1989/3/13)	71.5 (2011/3/20)	61.0 (1991/3/22)	61.0 (1986/3/14)	58.5 (2013/3/18)	58.0 (1988/3/11)	1981～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	23.5 (2013/3/18)	18.5 (2012/3/23)	7.5 (2015/3/18)	5.5 (2014/3/29)	5.5 (2013/3/13)	5.0 (2012/3/31)	4.5 (2015/3/19)	4.0 (2014/3/26)	4.0 (2014/3/13)	4.0 (2011/3/20)	2010～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	43.0 (2013/3/18)	32.5 (2012/3/23)	24.0 (2015/3/18)	24.0 (1998/3/27)	21.0 (1988/3/11)	21.0 (1983/3/2)	20.0 (1986/3/14)	19.0 (2014/3/29)	17.0 (1991/3/8)	17.0 (1989/3/24)	1981～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	246.0 (1983/3)	244.0 (1989/3)	240.0 (2014/3)	225.0 (2012/3)	225.0 (1990/3)	200.0 (1987/3)	200.0 (1982/3)	198.0 (1991/3)	196.0 (2015/3)	191.0 (1988/3)	1981～ 2016

4月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	267.0 (2006/4/10)	190.0 (1993/4/28)	123.0 (2002/4/6)	114.0 (1986/4/9)	109.0 (2012/4/11)	106.0 (2016/4/21)	103.0 (2007/4/22)	97.0 (1994/4/12)	96.0 (2010/4/22)	84.5 (2015/4/3)	1976～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	15.5 (2010/4/22)	11.5 (2012/4/11)	10.0 (2015/4/29)	8.5 (2010/4/28)	8.0 (2016/4/21)	8.0 (2009/4/25)	6.5 (2015/4/3)	6.0 (2016/4/27)	6.0 (2015/4/6)	6.0 (2013/4/2)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	50.0 (2006/4/10)	47.5 (2012/4/11)	46.0 (2010/4/22)	42.0 (1994/4/12)	32.5 (2015/4/29)	31.0 (2016/4/21)	29.0 (2007/4/22)	29.0 (2004/4/26)	29.0 (2004/4/1)	28.0 (2009/4/25)	1976～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	481.0 (2006/4)	349.0 (2016/4)	338.0 (2010/4)	335.5 (2015/4)	304.0 (1986/4)	296.0 (2003/4)	291.0 (2002/4)	275.0 (1998/4)	274.0 (1993/4)	230.5 (2012/4)	1976～ 2016

5月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	155.5 (2010/5/23)	137.5 (2011/5/10)	135.0 (1995/5/1)	126.0 (2004/5/13)	119.5 (2008/5/28)	119.0 (1992/5/8)	113.0 (1986/5/14)	107.0 (1998/5/11)	100.0 (1997/5/8)	99.0 (1985/5/19)	1976～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	14.5 (2009/5/21)	10.0 (2015/5/12)	10.0 (2011/5/11)	10.0 (2010/5/19)	9.5 (2011/5/10)	8.0 (2016/5/3)	7.5 (2010/5/23)	7.0 (2016/5/16)	6.0 (2013/5/28)	6.0 (2010/5/22)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	43.0 (2005/5/1)	42.0 (2002/5/3)	39.0 (1992/5/8)	39.0 (1984/5/13)	38.0 (2004/5/13)	37.0 (2009/5/21)	37.0 (1986/5/14)	36.0 (2008/5/28)	34.0 (1988/5/3)	33.0 (1998/5/2)	1976～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	476.0 (2006/5)	453.0 (2004/5)	426.0 (1986/5)	415.0 (1985/5)	368.0 (1998/5)	360.0 (2016/5)	352.5 (2010/5)	346.5 (2011/5)	327.0 (1997/5)	326.0 (1995/5)	1976～ 2016

(出所:気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

(参考資料4)観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(長浦岳)

6月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	255.0 (1991/6/30)	226.0 (1985/6/28)	219.0 (1978/6/11)	208.0 (1983/6/20)	190.0 (2006/6/26)	184.0 (1997/6/28)	183.0 (2012/6/24)	181.0 (1979/6/29)	174.0 (1988/6/2)	168.0 (1990/6/15)	1976～ 2016
日最大10分間降水量 (mm)	19.0 (2016/6/22)	18.5 (2016/6/19)	15.0 (2012/6/24)	13.5 (2013/6/30)	13.0 (2011/6/12)	12.0 (2010/6/29)	12.0 (2009/6/29)	11.0 (2013/6/26)	11.0 (2011/6/10)	10.5 (2013/6/9)	2009～ 2016
日最大1時間降水量 (mm)	94.0 (2006/6/26)	88.0 (1991/6/30)	68.0 (2016/6/22)	64.0 (1999/6/29)	56.5 (2012/6/24)	56.0 (1990/6/15)	53.0 (2016/6/19)	53.0 (1978/6/11)	53.0 (1977/6/16)	45.0 (1999/6/7)	1976～ 2016
月降水量の多い方から (mm)	778.0 (1979/6)	695.0 (2011/6)	678.0 (1998/6)	672.0 (1993/6)	650.0 (1999/6)	596.0 (1985/6)	592.0 (2012/6)	588.0 (2006/6)	583.0 (1986/6)	555.0 (1988/6)	1976～ 2016

7月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	427.0 (1982/7/23)	294.5 (2014/7/3)	222.0 (1982/7/11)	195.5 (2011/7/6)	195.0 (1985/7/9)	194.0 (1990/7/2)	193.0 (2007/7/6)	191.0 (1987/7/19)	186.0 (1999/7/23)	173.0 (2003/7/20)	1976～ 2015
日最大10分間降水量 (mm)	19.5 (2014/7/3)	19.0 (2009/7/24)	15.0 (2012/7/12)	15.0 (2009/7/25)	13.5 (2014/7/6)	13.5 (2010/7/14)	13.0 (2012/7/11)	12.5 (2015/7/13)	12.5 (2010/7/10)	12.0 (2015/7/22)	2009～ 2015
日最大1時間降水量 (mm)	153.0 (1982/7/23)	96.0 (2014/7/3)	66.0 (2007/7/6)	65.0 (1997/7/17)	57.0 (1999/7/23)	57.0 (1993/7/16)	56.0 (2010/7/14)	55.0 (1987/7/5)	53.0 (1985/7/9)	49.0 (2012/7/11)	1976～ 2015
月降水量の多い方から (mm)	1230.0 (1982/7)	825.0 (1987/7)	822.0 (1980/7)	818.0 (1997/7)	619.5 (2014/7)	566.0 (1999/7)	533.0 (2007/7)	525.0 (2003/7)	501.0 (1993/7)	481.0 (1986/7)	1976～ 2015

8月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	217.5 (2015/8/12)	158.0 (1980/8/29)	150.0 (2006/8/18)	140.0 (2011/8/23)	139.0 (1979/8/6)	135.0 (1984/8/21)	132.0 (1993/8/19)	131.0 (1979/8/26)	129.0 (2013/8/30)	129.0 (1997/8/6)	1976～ 2015
日最大10分間降水量 (mm)	22.5 (2011/8/26)	19.5 (2015/8/12)	19.0 (2014/8/5)	17.5 (2014/8/4)	17.0 (2014/8/3)	15.5 (2013/8/30)	15.5 (2011/8/23)	13.5 (2011/8/21)	13.5 (2009/8/15)	13.0 (2011/8/16)	2009～ 2015
日最大1時間降水量 (mm)	96.5 (2011/8/26)	73.0 (2003/8/26)	70.0 (2015/8/12)	52.5 (2014/8/4)	52.0 (1980/8/29)	49.0 (2013/8/30)	47.0 (2014/8/3)	46.0 (1996/8/8)	45.0 (1993/8/19)	43.5 (2011/8/23)	1976～ 2015
月降水量の多い方から (mm)	704.0 (2014/8)	507.0 (2011/8)	503.0 (1980/8)	475.0 (1993/8)	461.0 (2015/8)	450.0 (1999/8)	414.0 (1997/8)	358.0 (1979/8)	334.0 (2003/8)	332.0 (1976/8)	1976～ 2015

(出所:気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

(参考資料4)観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(長浦岳)

9月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	203.0 (1995/9/23)	151.0 (1986/9/20)	142.0 (1985/9/22)	120.0 (1999/9/11)	120.0 (1991/9/14)	117.0 (1989/9/13)	114.0 (1983/9/28)	113.0 (1989/9/1)	104.0 (1985/9/28)	102.0 (2002/9/16)	1976～ 2015
日最大10分間降水量 (mm)	16.0 (2014/9/3)	15.5 (2014/9/4)	13.0 (2012/9/5)	10.0 (2015/9/3)	9.0 (2011/9/18)	9.0 (2010/9/12)	9.0 (2010/9/7)	8.5 (2012/9/14)	8.0 (2015/9/6)	8.0 (2013/9/22)	2009～ 2015
日最大1時間降水量 (mm)	68.0 (1989/9/13)	54.0 (2000/9/1)	49.0 (2014/9/4)	46.0 (1991/9/14)	45.0 (1986/9/20)	42.0 (2004/9/18)	42.0 (1983/9/28)	41.0 (1999/9/11)	40.0 (1989/9/28)	40.0 (1985/9/22)	1976～ 2015
月降水量の多い方から (mm)	598.0 (1989/9)	441.0 (1983/9)	430.0 (1999/9)	414.0 (1991/9)	410.0 (1985/9)	298.0 (1995/9)	276.0 (1986/9)	272.0 (2004/9)	255.0 (1997/9)	251.0 (1976/9)	1976～ 2015

10月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	148.0 (1981/10/8)	139.0 (1985/10/11)	137.0 (1999/10/31)	123.0 (2009/10/2)	122.5 (2012/10/28)	94.5 (2014/10/13)	90.0 (1998/10/17)	89.0 (1980/10/18)	84.0 (2004/10/19)	76.5 (2013/10/23)	1976～ 2015
日最大10分間降水量 (mm)	27.0 (2012/10/28)	21.0 (2010/10/3)	13.5 (2011/10/14)	11.0 (2014/10/26)	10.0 (2013/10/23)	9.0 (2010/10/9)	8.0 (2015/10/27)	8.0 (2013/10/11)	7.5 (2009/10/2)	7.0 (2011/10/21)	2009～ 2015
日最大1時間降水量 (mm)	96.5 (2012/10/28)	93.0 (1999/10/31)	71.0 (1985/10/11)	57.5 (2010/10/3)	32.0 (2013/10/23)	31.0 (1981/10/8)	29.5 (2011/10/14)	27.0 (1980/10/18)	27.0 (1978/10/27)	26.0 (1985/10/12)	1976～ 2015
月降水量の多い方から (mm)	333.0 (1981/10)	303.0 (1985/10)	277.0 (2001/10)	256.0 (2013/10)	254.0 (1980/10)	227.5 (2011/10)	219.0 (2014/10)	201.0 (2004/10)	185.0 (1999/10)	179.5 (2012/10)	1976～ 2015

11月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	198.0 (1989/11/6)	129.5 (2011/11/18)	114.5 (2012/11/17)	105.0 (2001/11/29)	92.0 (2005/11/6)	80.0 (1987/11/2)	75.0 (1982/11/29)	63.0 (1993/11/10)	59.0 (2000/11/1)	58.0 (1993/11/30)	1976～ 2015
日最大10分間降水量 (mm)	18.5 (2013/11/10)	15.0 (2012/11/5)	14.0 (2014/11/25)	12.0 (2012/11/17)	12.0 (2011/11/5)	10.5 (2013/11/25)	10.5 (2011/11/18)	8.0 (2011/11/23)	7.0 (2015/11/17)	7.0 (2014/11/28)	2010～ 2015
日最大1時間降水量 (mm)	68.0 (2005/11/6)	67.0 (1989/11/6)	48.0 (1987/11/2)	42.0 (1984/11/11)	40.0 (2006/11/6)	40.0 (1999/11/1)	35.5 (2013/11/10)	34.0 (2001/11/29)	32.5 (2012/11/17)	32.0 (1979/11/5)	1976～ 2015
月降水量の多い方から (mm)	240.5 (2013/11)	239.5 (2012/11)	239.0 (2011/11)	228.0 (1989/11)	208.0 (1993/11)	202.0 (1997/11)	196.0 (2015/11)	185.0 (2006/11)	184.0 (2003/11)	178.0 (1999/11)	1976～ 2015

(出所:気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)

(参考資料4)観測地点ごとの観測史上1位～10位の値(長浦岳)

12月

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	88.0 (2004/12/4)	75.5 (2013/12/9)	66.0 (1994/12/9)	52.5 (2015/12/10)	50.5 (2010/12/13)	45.5 (2012/12/14)	41.5 (2012/12/28)	37.0 (1993/12/10)	34.5 (2015/12/2)	34.5 (2010/12/2)	1978～ 2015
日最大10分間降水量 (mm)	14.5 (2013/12/9)	11.5 (2010/12/2)	6.5 (2012/12/14)	5.5 (2012/12/21)	4.5 (2010/12/13)	4.0 (2010/12/20)	3.5 (2015/12/15)	3.5 (2014/12/8)	3.5 (2012/12/7)	3.0 (2015/12/10)	2010～ 2015
日最大1時間降水量 (mm)	25.5 (2013/12/9)	22.5 (2010/12/2)	16.0 (2012/12/14)	15.0 (2012/12/21)	15.0 (2004/12/4)	15.0 (2003/12/6)	14.0 (1993/12/10)	13.5 (2010/12/13)	13.0 (1994/12/9)	13.0 (1980/12/2)	1978～ 2015
月降水量の多い方から (mm)	232.0 (2010/12)	186.0 (2012/12)	138.5 (2015/12)	133.0 (2014/12)	118.5 (2013/12)	105.0 (1994/12)	99.0 (1980/12)	88.0 (2004/12)	86.0 (1991/12)	79.0 (1984/12)	1978～ 2015

(出所:気象庁HPのデータに基づき、長崎大学が作成。)